

## 埼玉県地域保健医療計画第6次圏域別取組進捗状況について

- 1 生活習慣病予防からはじめる健康づくり(糖尿病対策含む)
- 2 小児救急医療及び周産期医療
- 3 精神保健医療福祉対策
- 4 歯科保健対策
- 5 健康危機管理体制の整備充実

第6次埼玉県地域保健医療計画 南西部保健医療圏 重点取組 進捗状況(実績)調書(その1)

重点取組	生活習慣病予防からはじめる健康づくり(糖尿病対策含む)
目標	生活習慣病の予防と早期発見のため、特定健診・各種がん検診等の受診率の向上を図り、圏域住民への効果的な保健指導を目指します。なかでも、県に比べて標準化死亡比が高く、重篤な合併症を引き起こす糖尿病への対策を推進します。また、個人の健康意識を高めるとともに、健康づくりに取り組みやすい環境整備を進めます。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣病の早期発見と適切な保健指導の推進</li> <li>健康づくりに取り組みやすい環境整備</li> <li>地域・職域保健の連携推進</li> <li>糖尿病対策の推進</li> </ul>
実施主体	保険者、市町、保健所、医師会、歯科医師会、医療機関、事業所、商工会、各種健康づくり関係団体

主な取組	実施主体	28年度		29年度の進捗状況
		取組内容・実績	課題・問題点	
生活習慣病の早期発見と適切な保健指導の推進	朝霞地区医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定健診の事業評価から引き続き、実施率の向上と生活習慣病重症化予防対策事業と合わせて地域住民の健康づくりを推進</li> <li>○年1回、各市担当者と特定健診と生活習慣病重症化予防対策事業の実施状況等の報告会を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定健診の連続受診者の医療費が抑えられている結果から、引き続き実施率の向上対策が必要</li> <li>○生活習慣病重症化予防対策事業の協力医療機関を増やして、事業の推進をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定健診の事業評価から引き続き、実施率の向上を推進</li> <li>○生活習慣病重症化予防対策事業は、昨年度より参加医療機関が増加し推進</li> <li>○各市担当者と特定健診と生活習慣病重症化予防対策事業の実施状況等の報告会を予定</li> </ul>
	東入間医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○富士見市、ふじみ野市及び三芳町の首長と医師会役員との地域医療連携会議(28.11.8)を開催し、特定健診・各種がん検診の受診率などの情報を共有しながら、受診率の向上促進に取り組んだ。胃内視鏡検診の実施に向けた会議を2回開催し、H29年度中に実施方法など結論を出すこととした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○管内市町の特定健診の受診率は、常に上位を占めているが、更なる受診率の向上対策。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○11月7日に首長との地域医療連絡会議を開催し、特定健診・健康診査及びがん検診の受診状況を確認した。この中で、H30年度から胃内視鏡検診を実施することとし、対象者・受診回数・検査項目・検診料金などについて決めた。</li> </ul>
	朝霞地区歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○成人歯科検診の実施</li> <li>○後期高齢者健康長寿歯科検診の実施(75歳対象)</li> <li>○健康イベントに於ける新しい成人歯科検診保健指導の取り組み(志木市ノルディックウォーキング、朝霞市介護フェスタなど)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○男性の受診者が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○協会けんぽとの連携</li> <li>○市町村職員共済組合歯科検診の実施</li> </ul>
	入間郡市歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○障害者施設職員に対して、保健指導を行う</li> </ul>		
	上福岡・大井薬剤師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の産業祭りに出店。健康づくりの啓発活動を行った。</li> <li>・健康クイズ</li> <li>・健康レシピの紹介</li> <li>・健康相談</li> <li>・血圧、脈拍、SpO2測定(来場者数200名)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の産業祭りに出店。</li> <li>・体力年齢、脳年齢の測定。</li> <li>・健康相談</li> <li>・血圧、脈拍、SpO2測定(来場者数230名)</li> <li>認知症、フレイル予防のための呼びかけ。高血圧、生活習慣病予防の啓発活動・受診勧奨を行った。</li> </ul>
	朝霞市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特定健康診査 7,378人(受診率 41.8%)</li> <li>○特定保健指導(実施率 25.5%) 積極的支援 34人 動機付け支援 177人</li> <li>○成人健康診査(生活保護受給者) 受診者 247人、保健指導 4人</li> <li>○成人健康診査(30代のヘルスチェック) 受診者 426人、保健指導 1人</li> <li>○30代のヘルシーセミナー 385人</li> <li>○骨粗しょう症予防 検診 856人、健康教育 853人</li> <li>○生活習慣病予防教室:へるすアップチャレンジ(4回、延96人)</li> <li>○各種がん検診*がん検診推進事業含む <ul style="list-style-type: none"> <li>・胃がん 5,888人(13.7%)</li> <li>・肺がん 10,965人(25.4%)</li> <li>・大腸がん 10,867人(25.2%)</li> <li>・子宮がん 4,860人(16.5%)</li> <li>・乳がん 4,922人(18.4%)</li> <li>・前立腺がん 3,959人(38.0%)</li> </ul> </li> <li>○乳がん自己検診啓発 乳がんグローブの配布 2,486枚</li> <li>○がんリスクチェック</li> <li>○肝炎ウイルス検診 200人</li> <li>○健康相談 <ul style="list-style-type: none"> <li>・重点健康相談 73回、610人</li> <li>・総合健康相談 75回、1,799人</li> </ul> </li> <li>○たばこ対策 マタニティ教室、保健指導、広報等で、喫煙が及ぼす健康影響についての知識の普及を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各種健康診査 受診率の向上を図るため、受診勧奨の実施。周知方法等の検討</li> <li>○各種保健指導 実施率の向上、指導成果を上げるための内容や手法の検討、指導後の評価の実施</li> <li>○各種健康教育 対象者に興味をもってもらえる企画・立案 市民と協働した事業の企画・運営 働く世代の参加を促す取組について検討</li> <li>○教室等の保健事業への参加のみでなく、自主的に取組める体制づくり。</li> <li>○各種がん検診 <ul style="list-style-type: none"> <li>・受診しやすい環境(体制)づくり</li> <li>・要精密検査判定者への受診勧奨</li> <li>・受診率の向上</li> </ul> </li> <li>○たばこ対策 <ul style="list-style-type: none"> <li>・喫煙率を指標として評価を実施。</li> <li>・受動喫煙に関する情報提供、知識の普及啓発</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特定健康診査</li> <li>○特定保健指導</li> <li>○成人健康診査(生活保護受給者)</li> <li>○成人健康診査(30代のヘルスチェック) 5回 375人</li> <li>○30代のヘルシーセミナー 356人</li> <li>○骨粗しょう症予防 検診 10回 963人 健康教育 10回 963人</li> <li>○生活習慣病予防教室 4回 延137人</li> <li>○各種がん検診</li> <li>○肝炎ウイルス検診</li> <li>○健康相談</li> <li>○たばこ対策 マタニティ教室、保健指導、広報、ホームページ等で、喫煙が及ぼす健康への影響についての知識普及を実施</li> <li>○乳がん自己検診啓発 3歳児健診や乳がん検診時に、乳がんの自己検診用グローブを配付し、啓発事業の実施</li> </ul>

主な取組	実施主体	28年度		29年度の進捗状況	
		取組内容・実績	課題・問題点		
生活習慣病の早期発見と適切な保健指導の推進	志木市	<p>○特定健康診査(受診率:38.6%) ○特定保健指導(業務委託)実施率:14.9% 積極的支援終了者 133人中17人 動機づけ支援終了者 410人中64人</p> <p>○各種がん検診実施 30歳以上の市民(子宮頸がんは20歳以上、前立腺がんは55歳以上)を対象に、各種がん検診(個別・集団)を実施した。 ・胃がん(内視鏡)受診者数1,064人 ・胃がん(X線)受診者数1,391人 ・乳がん 受診者数2,729人 ・肺がん 受診者数4,958人 ・大腸がん 受診者数5,407人 ・子宮頸がん 受診者数1,031人 ・前立腺がん 受診者数1,915人 ○肝炎ウイルス検診実施 40歳以上の市民を対象に、肝炎ウイルス検診(個別・集団)を実施した。受診者数294人 ○胃がんリスク検診(新規事業) 胃がん検診受診率の向上を目指し、一定年齢層(40歳から60歳までの5歳刻み)に対し、「胃がんリスク検診」(ABC検診)を実施した。受診者数836人</p> <p>○健康長寿埼玉プロジェクト(とことんモデル)実施 ・いろは健康ポイント事業(1,719人) 40歳以上の市民対象。歩数計を貸与し、市内27か所の端末にかざす。歩数や健康状態が変化することでポイント付与 ・健康になりまっする教室(215人) 40歳以上の市民対象。週1回8か月間有酸素運動、筋力アップトレーニング、食事コントロールの三位一体の事業を実施(1コース約28人8コース実施)</p>	<p>○地域内において受診できる医療機関も限られていることから、例年35%前後の受診率で推移している。 特定健康診査受診率及び特定保健指導実施率とも前年度を上回ったがそれぞれ県内市町村平均よりは下回っているため、今後も受診勧奨に力を入れるとともに、委託業者との連携を密にし、実施率向上にむけた取り組みを進めいく必要がある。</p> <p>○依然として国の定める受診率目標に達していないため、受診勧奨方法や、公共施設などを会場とした集団検診の回数の増加なども改めて検討する必要がある。</p> <p>○平成29年度で県の補助金が終了するため、財源確保策を早急に講じる必要がある。</p>	<p>○特定健康診査受診率向上のため、タイプ別受診勧奨を実施。 ○特定保健指導(業務委託)実施率向上のため、訪問型指導も実施。</p> <p>○各種がん検診実施 30歳以上の市民(子宮頸がんは20歳以上、前立腺がんは55歳以上)を対象に、各種がん検診(個別・集団)を実施。 胃がん(内視鏡・X線選択可)、乳がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん(30歳～65歳は、HPV併用検診)、前立腺がん。 ○肝炎ウイルス検診実施 40歳以上の市民(過去に同検診を受診していない人)対象 ○胃がんリスク検診 胃がん検診受診率の向上を目指し、一定年齢層(40歳から60歳までの5歳刻み)に対し、「胃がんリスク検診」(ABC検診)を実施。</p> <p>○健康長寿埼玉プロジェクト(とことんモデル)実施 ・いろは健康ポイント事業(2,330人) 40歳以上の市民対象。歩数計を貸与し、市内27か所の端末にかざす。歩数や健康状態が変化することでポイント付与 ・健康になりまっする教室(283人) 40歳以上の市民対象。週1回8か月間有酸素運動、筋力アップトレーニング、食事コントロールの三位一体の事業を実施(1コース約28人10コース実施)</p>	
		<p>○国保運動教室実施(8か月間・計24日) 平成27年度の特定健康診査受診者でHbA1C 6.5%以上または空腹時血糖126mg/dlでeGFRが基準値(60ml/分/1.73m)未満の者及び平成27年度の特定健診受診者で特定保健指導の対象者となった者。参加者36人(火曜日コース19人、木曜日コース17人)。</p>	○該当者は多いが、申し込み者が少ない。	○国保運動教室実施(8か月間・計24日) 平成28年度特定健診および人間ドック受診者で、HbA1c5.6%以上、拡張期血圧85mmHg/dl以上、中性脂肪150mg/dl以上のいずれか2つ以上該当する40歳～70歳未満の者。参加者29人	
		○いろは健康21プラン(第3期)及び志木市食育推進計画、歯と口腔の健康プラン進捗(志木市健康づくり市民推協議会2回)		○いろは健康21プラン(第3期)及び志木市食育推進計画、歯と口腔の健康プラン進捗(志木市健康づくり市民推協議会5回)※次期計画を平成30年度中に策定するため、平成29年11月～12月にかけて実施する市民健康意識調査案も同協議会で検討。	
		○骨量測定・骨粗しょう症予防教室 母子保健推進員や市民を対象に、骨粗しょう症予防啓発事業として、骨量測定と教室を実施。(3回 279人)	○教室への参加希望が多く、特に高齢者の参加者が多い。一次予防の観点から、50～60歳代の参加啓発が必要。	○10月には健康まつりにおいて骨量測定を実施。 骨粗しょう症予防教室を年2回実施。	
		○いろは健康21プラン推進事業実行委員会(13回)		○いろは健康21プラン推進事業実行委員会(月1回程度)	
		和光市	○集団健診結果説明会を実施した。 ○小グループによる生活習慣病予防指導を行い、希望者には同日に個別健康相談をおこない、保健指導を実施した。 ○特定保健指導の勧奨及び当日に実施をした。 ○集団健診結果説明会の未来所者で、健康支援課窓口の結果を取りに来た人に、個別相談を実施。 ○3年間の健診結果をグラフ化し、性別・年代等個々の状態に合わせたパンフレットと共に個別送付した。	○健診受診率は高いが、保健指導の参加が少ない。意識を高めるため、健診結果の推移がわかるグラフの作成などに取り組んだが、勧奨方法、保健指導内容の検討も必要。	○集団健診結果説明会を実施した。 ○小グループによる生活習慣病予防指導を行い、希望者には同日に保健師や管理栄養士等による個別健康相談を実施している。 ○集団健診結果説明会で、返却用封筒に特定保健指導対象者には案内通知を同封し、保健センターの会場で参加勧奨をし、動機づけ支援を中心に市が直接保健指導の初回面接を実施できるようにし、対象者が選択できる体制としている。 ○個別健診受診者に対して、健診の経年検査結果が一目でわかるグラフを作成し配布する予定。 ○特定保健指導は1業者に委託した。 ○保健指導・健康相談員(8月～3/W)を配置し、ハイリスク者に対して、保健指導を実施。

主な取組	実施主体	28年度		29年度の進捗状況
		取組内容・実績	課題・問題点	
生活習慣病の早期発見と適切な保健指導の推進	新座市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康づくり推進協議会の開催(年2回)</li> <li>○第2次計画「第2次いきいき新座21プラン」(第2次新座市健康づくり行動計画・新座市食育推進計画・新座市歯科口腔保健推進計画)の推進(平成27年3月～平成37年3月)</li> <li>○いきいき新座21講演会の開催 1回 34人</li> <li>○保健センター通信「えがお」の発行 年3回</li> <li>○健康手帳の交付 配布数 381冊</li> <li>○一日健康教 7回 延べ167人</li> <li>○ニコ筋半日教室 5回 延べ99人</li> <li>○すこやか広場健康相談 36回 延べ238人</li> <li>○すこやか広場栄養相談 36回 延べ192人</li> <li>○訪問指導 0人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第2次いきいき新座21プランの推進を計画的に進めていく。</li> <li>○働き盛り世代が参加しやすい内容でいきいき新座21講演会を企画する。</li> <li>○健康教室・健康相談に関しては、周知方法を改善し、人数増を図っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康づくり推進協議会の開催(年2回)</li> <li>○第2次計画「第2次いきいき新座21プラン」(第2次新座市健康づくり行動計画・新座市食育推進計画・新座市歯科口腔保健推進計画)の推進</li> <li>○いきいき新座21講演会の開催(1回 人)</li> <li>○保健センター通信「えがお」の発行</li> <li>○健康手帳の交付 配付数 92冊(11月末現在)</li> <li>○一日健康教室 4回 103人(10月末現在)</li> <li>○ニコ筋半日教室 2回 32人(10月末現在)</li> <li>○すこやか広場健康相談 21回 145人(10月末現在)</li> <li>○すこやか広場栄養相談 21回 123人(10月末現在)</li> <li>○訪問指導 集計中</li> </ul>
	新座市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各種がん検診 30歳以上の市民を対象に、各種がん検診を無料で実施した。(子宮がんは20歳以上、前立腺がんは55歳以上を対象。) 個別検診及び集団検診を実施。 (1) 胃がん検診(X線検査受診者数:4,847人、 内視鏡検査受診者:4,166人)</li> <li>(2) 肺がん検診(受診者数:15,223人)</li> <li>(3) 大腸がん検診(受診者数:15,190人)</li> <li>(4) 乳がん検診(受診者数:6,255人)</li> <li>(5) 子宮がん検診(受診者数:6,225人、 妊婦健診(がん検診受診者数:1,127人)</li> <li>(6) 前立腺がん検診(受診者数:5,356人)</li> </ul> <p>検診結果が要精密検査であった者のうち、2次検査が未受診であると思われる者に対し、個別勧奨通知を送付し、2次検査の受診を促した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各種がん検診 各種がん検診の受診率は全て、国の目標値である50%に届いていない状況であることから、更なる受診率向上対策について検討する必要があるが、受診率50%を達成するためには、現状の医療機関数では受け入れが不足することが懸念される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各種がん検診 30歳以上の市民を対象に、各種がん検診を無料で実施している。(子宮がんは20歳以上、前立腺がんは55歳以上を対象。)</li> <li>(1) 胃がん検診</li> <li>(2) 肺がん検診</li> <li>(3) 大腸がん検診</li> <li>(4) 乳がん検診</li> <li>(5) 子宮がん検診</li> <li>(6) 前立腺がん検診</li> </ul> <p>要精密検査対象者のうち、2次検査が未受診であると思われる者に対し、個別勧奨通知を送付し、2次検査の受診を促した。</p>
	新座市	○肝炎ウイルス検診 (受診者数:88人)		○肝炎ウイルス検診
	新座市	○保険未加入者健康診査(受診者数:99人)		○保険未加入者健康診査
	新座市	○30代までのからだチェック 特定健診の対象となる以前の18歳～39歳の者のうち、職域等での健診機会のない者を対象に健康診査を実施した。(受診者数:518人)		○30代のからだチェック 特定健診の対象となる以前の30歳から39歳までの市民を対象に、健康診査を実施した。 自己負担金は無料。
	新座市	○骨粗しょう症検診 年度内に40歳以上5歳刻みの節目年齢になる市民を対象に、骨粗しょう症検診を実施した。(受診者数:158人)		○骨粗しょう症検診 年度内に40歳以上5歳刻みの節目年齢になる市民を対象に、骨粗しょう症検診を実施した。自己負担金は無料。
	新座市	○特定健康診査 40歳以上75歳未満の国民健康保険被保険者を対象に実施 法定報告数 10,642人受診 法定報告受診率 37.8% 目標値 51% (本市の特定健康診査等実施計画目標値)	○特定健康診査 受診率は少しずつ向上しているが、目標値に届かない状況である。また、埼玉県内市平均38.9%を下回っている。	○特定健康診査 継続して健診受診していただけるよう、2年間連続して健診受診した方と今年度40歳になり、初めて特定健診を受けた方に対し、全国農業協同組合連合会(JA)の新座市内直売場で野菜と交換できる券を送付している。 また健診受診促進のために、健診未受診者への電話による勧奨を行った。 健診自己負担金無料を継続している。
	新座市	○特定保健指導 特定健診受診者のうち、積極的支援と動機付け支援に該当になった40～74歳の者に対し、特定保健指導を実施した。(積極的支援27名、動機付け支援143名) ※積極的支援は業者委託、動機付け支援は国保年金課直営で実施	○特定保健指導 実施率は13.8%で、本市の特定健康診査等実施計画目標値の50%には届かない状況である。実施率向上のために、勧奨等に力を入れているが、成果として表れては来ている。	○特定保健指導 積極的支援は業者委託で実施 動機付け支援は直営で実施 動機付け支援については、昨年度まで実施していた個別面談から、健診結果説明会として集団支援の形で実施することとした。
	富士見市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特定健康診査</li> <li>○特定保健指導 終了者数222人(23.5%)</li> <li>○特定保健指導未利用者対策 モデル地区への訪問 電話による勧奨</li> <li>○ヘルスチェック</li> <li>○各種がん検診(胃がん、乳がん、子宮頸がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん)</li> <li>○健康診査</li> <li>○健康教育 生活習慣病予防教室 ヘルスセミナー 歯周病予防講座 運動講座 健康づくり講座</li> <li>○健康相談 骨粗しょう症予防相談 健康相談</li> </ul>	○特定保健指導や各種健康教室における40～50歳代の参加者が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特定健康診査</li> <li>○特定保健指導</li> <li>○特定保健指導未利用者対策 モデル地区への訪問 電話による勧奨</li> <li>○ヘルスチェック</li> <li>○各種がん検診(胃がん、乳がん、子宮頸がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん)</li> <li>○健康診査</li> <li>○健康教育 生活習慣病予防教室 ヘルスセミナー 歯周病予防講座 運動講座 健康づくり講座 栄養講座</li> <li>○健康相談 健康相談</li> </ul>

主な取組	実施主体	28年度		29年度の進捗状況
		取組内容・実績	課題・問題点	
・生活習慣病の早期発見と適切な保健指導の推進	ふじみ野市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康診査、各種がん検診事業</li> <li>・生活保護受給者の健康診査及び各種がん検診を、6～11月医師会に委託し実施</li> <li>・要精密対象者に対する電話フォロー実施</li> <li>○健康教育</li> <li>・がん予防講座 参加者37人</li> <li>・歯と口の健康づくり講演会 参加者62人</li> <li>・健康生活セミナー 参加者129人</li> <li>○健康相談</li> <li>・総合健康相談 50回開催/598人</li> <li>・重点健康相談 60回開催/276人</li> <li>○訪問</li> <li>・特定健診受診者で特定保健指導対象者以外に対して実施</li> <li>○特定健康診査・特定保健指導の実施</li> <li>・特定健診受診者7,978人、受診率46.3%</li> <li>・特定保健指導修了者396人、終了率42.0%</li> <li>○未受診者対策</li> <li>・受診勧奨ハガキ通知</li> <li>・地区を選定し訪問勧奨</li> <li>・継続受診電話勧奨</li> <li>・4月1日国保加入者への電話勧奨</li> <li>・診療情報提供事業</li> <li>○腎機能に焦点を当てた重症化予防</li> <li>・市民講座 1回実施 参加者58人</li> <li>・市民個別相談会 1回実施 参加者8人</li> <li>・電話・訪問指導 148人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○がん検診の受診率の向上</li> <li>○精密検査受診率の向上</li> <li>○特定健康診査の受診率の伸びが低い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康診査・各種がん検診事業</li> <li>・生活保護受給者の健康診査及び各種がん検診を、6～11月医師会に委託し実施</li> <li>・要精密対象者に対する電話フォロー実施</li> <li>○健康教育</li> <li>・がん予防講座</li> <li>・歯と口の健康づくり講演会</li> <li>・健康生活セミナー</li> <li>○健康相談</li> <li>・総合健康相談</li> <li>・重点健康相談</li> <li>○訪問</li> <li>・特定健診受診者で特定保健指導対象者以外に対して実施</li> <li>○特定健康診査・特定保健指導の実施</li> <li>・健診受診者2,904人(H29.10.25現在)</li> <li>○未受診者対策</li> <li>・受診勧奨ハガキ通知</li> <li>・継続受診勧奨ハガキ通知</li> <li>・4月1日国保加入者への電話勧奨</li> <li>・診療情報提供事業</li> <li>○腎機能に焦点を当てた重症化予防</li> <li>・市民講座</li> <li>・市民個別相談会</li> <li>・電話・訪問</li> </ul>
	三芳町	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各種がん検診(胃がん、乳がん、子宮頸がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん)</li> <li>○健康教育:骨粗しょう症健康教育</li> <li>○健康相談:大人の健康相談(年12回)</li> <li>○特定健康診査…東入間医師会との契約によりふじみ野市・富士見市・三芳町の特定健康診査実施医療機関にて健康診査を実施。受診者数3,065人(受診率43.6%)</li> <li>○特定保健指導対象者393人参加者35人(実施率8.9%)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○がん検診の受診率の向上</li> <li>○精密検査受診率の向上</li> <li>○特定健康診査…40代50代の受診率が伸びない</li> <li>○特定保健指導…年々、実施率が低下している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各種がん検診(胃がん、乳がん、子宮頸がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん)</li> <li>○健康相談:大人の健康相談(年12回)</li> <li>○特定健康診査…特定健康診査に係る診療情報提供事業実施、過去3年未受診者に受診勧奨ハガキの送付</li> </ul>
	朝霞保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特定健診受診率向上を目的とした4市(朝霞市、志木市、和光市、新座市)合同キャンペーンに参画(10月16日:朝霞市)</li> <li>○各市町国保及び保健センター職員、企業健康保険組合・健康管理室、地域活動栄養士等を対象に保健指導のスキルアップを目的に研修会を開催(1月25日、1月27日)</li> <li>○健康長寿サポーターの育成(2回24人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○働きざかり世代に向けたアプローチ</li> <li>○管内市町の健康課題に合わせた生活習慣病予防対策の検討が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○特定健診受診率向上を目的とした4市(朝霞市、志木市、和光市、新座市)合同キャンペーンに参画(5月21日:志木市)</li> <li>○各市町国保及び保健センター職員、企業健康保険組合・健康管理室、地域活動栄養士等を対象に保健指導のスキルアップを目的に研修会を開催(12月12日、12月13日、1月29日、3月1日)</li> <li>○健康長寿サポーターの育成(2回、3月1日実施予定)</li> </ul>
・健康づくりに取り組みやすい環境整備	朝霞地区医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○わこう市民まつりに参加し、マスクやインフルエンザのリーフレットを配布し啓発活動を実施</li> <li>○各市健康まつりの健康相談コーナーに、医師を派遣</li> <li>○朝霞地区4市特定健診受診率向上キャンペーンの後援(新座市)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○わこう市民まつりに参加し、マスク、インフルエンザのリーフレットを配布し啓発活動を実施</li> <li>○各市健康まつりの健康相談コーナーに、医師を派遣</li> <li>○朝霞地区4市特定健診受診率向上キャンペーンの後援(志木市)</li> </ul>
	朝霞地区歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○歯科からの啓発ツールの開発普及</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○認知度の低さ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○啓発、歯科保健指導ツールのWEB、スマホ版開発。イベントでの使用や周知。</li> <li>○市民向け情報誌における情報提供。</li> </ul>
	上福岡・大井薬剤師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○保健センターからの依頼で保健推進員定例会に講師として参加(骨粗しょう症の予防について講義。)</li> <li>○ふじみ野市の市民企画講座に講師として参加。薬剤師と管理栄養士で市民に向けた健康講座を行った。</li> <li>12月…生活習慣病</li> <li>1月…インフルエンザ、花粉症</li> <li>2月…口腔機能、嚥下</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市民の受講人数をもっと増やしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市民大学ふじみ野の講師として参加。薬剤師と管理栄養士による健康講座を行っている。</li> <li>9月…より良い睡眠の秘訣</li> <li>10月…家庭でできる薬膳</li> <li>12月(予定)…長生きを支える足腰づくり</li> <li>2月(予定)…認知症予防</li> </ul>

主な取組	実施主体	28年度		29年度の進捗状況	
		取組内容・実績	課題・問題点		
・健康づくりに取り組みやすい環境整備	朝霞市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康づくり推進協議会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・3回開催(14団体)</li> </ul> </li> <li>○あさか健康プラン21推進事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会「立ち上がり習慣のススメ」 参加人数 91人</li> <li>・広報「へるす☆アップ」の発行 4回/年</li> <li>・健康づくりガイドブックの発行 1回/年</li> </ul> </li> <li>○あさか健康プラン21(第2次) <ul style="list-style-type: none"> <li>健康あさか普及員 243名</li> <li>健康あさか普及員意見交換会の実施 7回延218人</li> </ul> </li> <li>○健康手帳・健康ファイルの交付 217冊</li> <li>○総合健康診査の実施(国保対象者の特定健康診査+がん検診の同日実施)</li> <li>○節目健診の実施(骨粗しょう症検診+成人歯科健診の同日実施)</li> <li>○健診をうける機会が少ない年代の女性を対象とした健診の実施(30代のヘルスチェック+子宮頸がん検診+乳がん検診の同日実施)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康づくり推進協議会 <ul style="list-style-type: none"> <li>市民の健康づくりの推進及び普及啓発を図るため、関係機関との連携を図る。</li> </ul> </li> <li>○あさか健康プラン21(第2次) <ul style="list-style-type: none"> <li>国の健康日本21(第2次)と、県の健康埼玉21と整合を図り策定。目標達成に向けた事業展開及び進捗管理を行う。</li> </ul> </li> <li>○健康手帳・健康ファイルの交付 <ul style="list-style-type: none"> <li>有効に活用してもらえるような交付の仕方の工夫が必要。事業等での活用</li> </ul> </li> <li>○各種健康診査 <ul style="list-style-type: none"> <li>受診率の向上を図るため、企画の工夫及び周知方法等の検討</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康づくり推進協議会 <ul style="list-style-type: none"> <li>2回開催(14団体)</li> </ul> </li> <li>○あさか健康プラン21(第2次) <ul style="list-style-type: none"> <li>講演会「筋力アップで健康寿命をのばそう！」参加人数 138人</li> <li>「健康あさか 普及員」普及員意見交換会の実施 目標登録数 300人</li> <li>・広報「へるす☆アップ」の発行 4回/年</li> <li>・健康づくりガイドブックの発行 1回/年</li> </ul> </li> <li>○健康マイレージ事業の実施</li> <li>○健康手帳・健康ファイルの交付</li> <li>○総合健康診査の実施(国保対象者の特定健康診査+がん検診の同日実施)</li> <li>○節目健診の実施(骨粗しょう症検診+成人歯科健診の同日実施)</li> <li>○健診をうける機会が少ない年代の女性を対象とした健診の実施(30代のヘルスチェックと子宮頸がん検診+乳がん検診の同日実施)</li> </ul>	
		志木市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ノルディックウォーキング・ポールウォーキング全国大会の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>平成27年度から公募の市民からなる「いろは健康21プラン推進事業実行委員会」主催で実施。第2回目となる平成28年度は、5月15日に開催。参加者数813人</li> </ul> </li> <li>○スマート・ウォーク・リーダー育成講座の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>健康に対する意識や知識の向上を目的に、健康に関する事業やノルディックウォーキング・ポールウォーキングの普及などに取り組んでいただくスマート・ウォーク・リーダーを育成する講座。(平成28年12月1日～平成29年2月22日 全11回)受講者数45人</li> </ul> </li> <li>○健康まつりの実施(参加者約1,100人) <ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣病予防と「自分の健康は自分で守る」という意識啓発を図るためのイベントを10月に実施。</li> </ul> </li> <li>○健康手帳の交付(142人) <ul style="list-style-type: none"> <li>自己の健康管理に役立てていただくため、各種事業参加者に配布。</li> </ul> </li> <li>○健康教育(年106回 延5,502人) <ul style="list-style-type: none"> <li>健康づくりに関する正しい知識の普及を図るため、健康増進事業及び食育推進事業を実施。</li> </ul> </li> <li>○健康相談(延760人) <ul style="list-style-type: none"> <li>健康上の悩みや不安に応じ、電話や面接により必要な保健指導を実施。</li> </ul> </li> <li>○訪問指導(延11人) <ul style="list-style-type: none"> <li>訪問による生活習慣改善指導を実施。</li> </ul> </li> <li>○食生活改善推進員養成講座の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>隔年の開催で次回は平成29年度のため実施なし。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実行委員会の組織強化</li> <li>○協賛社・者の拡大。</li> <li>○参加者の拡大 <ul style="list-style-type: none"> <li>○受講後いろは健康21プラン推進事業実行委員会など、地域の健康づくりリーダーとして活躍する人の増大</li> </ul> </li> <li>○健康まつりの実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>各種団体、関係機関、行政等が連携し、楽しみながら健康づくりができる普及啓発の場として定着している。</li> </ul> </li> <li>○健康手帳の交付 <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康手帳を健康づくりに生かせるよう、継続的な使用をどう促すかが課題</li> <li>・今後ダウンロード方式に高齢者等対象をどのような形で活用してもらうか検討が必要。</li> </ul> </li> <li>○健康教育 <ul style="list-style-type: none"> <li>各講座とも60歳代後半から70歳代の参加が多いが、健康ポイント事業参加者が当事業も参加。</li> </ul> </li> <li>○健康相談 <ul style="list-style-type: none"> <li>特定健診の事後指導を担当課と連携の仕方の検討。</li> </ul> </li> <li>○訪問指導 <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な人への適切な訪問指導</li> <li>・訪問対象者を含めた家族の健康課題解決への視点が求められている。</li> </ul> </li> <li>○継続して推進員を養成していく必要性あり。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ノルディックウォーキング・ポールウォーキング全国大会の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>第3回大会を平成29年5月21日に開催。参加者数1,054人</li> </ul> </li> <li>○スマート・ウォーク・リーダー育成講座の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>健康に対する意識や知識の向上を目的に、健康に関する事業やノルディックウォーキング・ポールウォーキングの普及などに取り組んでいただくスマート・ウォーク・リーダーを育成する講座。(平成29年11月22日～平成30年2月28日 全16回)受講者数52人</li> </ul> </li> <li>○健康まつりの実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>10月15日(日)に、健康増進センターにおいて実施した。(参加者約900人)</li> </ul> </li> <li>○健康手帳の交付 <ul style="list-style-type: none"> <li>健康教育や各種イベント時に手帳を配布している。</li> </ul> </li> <li>○健康教育 <ul style="list-style-type: none"> <li>健康づくりに関する正しい知識の普及を図るため、健康増進事業及び食育推進事業を実施中。</li> </ul> </li> <li>○健康相談 <ul style="list-style-type: none"> <li>健康上の悩みや不安に応じ、電話や面接により必要な保健指導を実施中。</li> </ul> </li> <li>○訪問指導 <ul style="list-style-type: none"> <li>訪問による生活習慣改善指導を実施中。</li> </ul> </li> <li>○食生活改善推進員養成講座の開催 <ul style="list-style-type: none"> <li>1コース7回 11月～3月に開催。16人の申込あり。</li> </ul> </li> </ul>
	和光市		<ul style="list-style-type: none"> <li>○個別健診と集団健診、国保集団健診、女性特有のがん検診を実施。個別・集団ともに、和光市国保加入者以外の和光市民もがん検診が受けられる。</li> <li>○集団健診の実施日数を18日、特定健診対象者だけを対象とし、特定・肺・大腸がん検診をセットにして行う国保集団健診を8日間実施。</li> <li>○ヘルスサポーターの養成(全5日間の講座。2コース37名)。</li> <li>○健康教育(運動中心の教室4コース実94人、延べ413人)の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○個別健診と集団健診、国保集団健診を実施。個別・集団ともに、和光市国保加入者以外の和光市民もがん検診が受けられる。</li> <li>○集団健診の実施日数を18日、特定健診対象者だけを対象とし、特定・肺・胃・大腸がん検診をセットにして行う国保集団健診を8日間実施。</li> <li>○ヘルスサポーターの養成(全5日間の講座2コース)。1コース目の参加者は24名、2コース目は1～2月実施。</li> <li>○健康教育(運動中心の教室3コース実48名、延べ70人)の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○個別健診と集団健診、国保集団健診を実施。個別・集団ともに、和光市国保加入者以外の和光市民もがん検診が受けられる。</li> <li>○集団健診の実施日数を18日、特定健診対象者だけを対象とし、特定・肺・胃・大腸がん検診をセットにして行う国保集団健診を8日間実施。</li> <li>○ヘルスサポーターの養成(全5日間の講座2コース)。1コース目の参加者は24名、2コース目は1～2月実施。</li> <li>○健康教育(運動中心の教室3コース実48名、延べ70人)の実施</li> </ul>

主な取組	実施主体	28年度		29年度の進捗状況
		取組内容・実績	課題・問題点	
・健康づくりに取り組みやすい環境整備	新座市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各種がん検診               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 胃・大腸・肺・乳がん検診の対象年齢を国の推奨する40歳以上から30歳以上に拡大し、利便性向上を図った。</li> <li>(2) 集団検診においては、複数の検診(骨粗しょう症検診・成人歯科検診・30代までのからだチェック)との同時受診を可能とし、土日にも検診日を設けていると共に、医師・技師等のスタッフと受診者を女性限定とするレディースデーを設置する等、利便性の向上を図った。</li> <li>(3) 子育て世代の利便性向上を図るために、全日程において一時保育を行った。</li> <li>(4) 国保特定健診と同時に受診が可能な「総合健診」を集団検診において実施し、利便性の向上を図った。</li> <li>(5) 各種がん検診の自己負担金を無料化し、利便性の向上を図っている。</li> <li>(6) 胃がん検診において内視鏡検査を導入し、バリウムを用いたX線検査との選択制にすることにより、利便性の向上を図っている。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各種がん検診               <ul style="list-style-type: none"> <li>各検診とも受診率は全て、国の目標値である50%に届いていない状況であることから、更なる受診率向上対策について検討する必要があるが、受診率50%を達成するためには、現状の医療機関数では受け入れが不足することが懸念される。個別検診の受け入れに限界があるようであれば、集団検診の拡充が必須と考えられるが、市の財政上難しい現状がある。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各種がん検診               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 胃・大腸・肺・乳がん検診の対象年齢を国の推奨する40歳以上から30歳以上に拡大し、利便性向上を図っている。</li> <li>(2) 集団検診においては、複数の検診(骨粗しょう症検診・成人歯科検診・30代までのからだチェック)との同時受診を可能とし、土日にも検診日を設けていると共に、医師・技師等のスタッフと受診者を女性限定とするレディースデーを設置する等、利便性の向上を図っている。</li> <li>(3) 子育て世代の利便性向上を図るために、全日程において一時保育を行っている。</li> <li>(4) 国保特定健診と同時に受診が可能な「総合健診」を集団検診において実施し、利便性の向上を図っている。</li> <li>(5) 各種がん検診の自己負担金を無料化し、利便性の向上を図っている。</li> <li>(6) 胃がん検診において内視鏡検査を導入し、バリウムを用いたX線検査との選択制にすることにより、利便性の向上を図っている。</li> </ul> </li> </ul>
	新座市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○30代までのからだチェック               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 各種がん検診・成人歯科検診と同時受診を可能とし、土日にも検診日を設けていると共に、医師・技師等のスタッフと受診者を女性限定とするレディースデーを設置する等、利便性の向上を図った。</li> <li>(2) 検診日において、就学時前までの児の一時保育を実施し、子育て中の者も受診しやすいよう環境整備を行った。</li> </ul> </li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○30代からのからだチェック               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 各種がん検診・成人歯科検診と同時受診を可能とし、土日にも検診日を設けていると共に、医師・技師等のスタッフと受診者を女性限定とするレディースデーを設置する等、利便性の向上を図っている。</li> <li>(2) 検診日において、就学時前までの児の一時保育を実施し、子育て中の者も受診しやすいよう環境整備を行っている。</li> </ul> </li> </ul>
	新座市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○骨粗しょう症検診               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 各種がん検診と同時受診を可能とし、土日にも検診日を設けていると共に、医師・技師等のスタッフと受診者を女性限定とするレディースデーを設置する等、利便性の向上を図った。</li> </ul> </li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○骨粗しょう症検診               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 各種がん検診と同時受診を可能とし、土日にも検診日を設けていると共に、医師・技師等のスタッフと受診者を女性限定とするレディースデーを設置する等、利便性の向上を図っている。</li> </ul> </li> </ul>
	富士見市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ヘルスマイト養成講座の実施(2名養成)</li> <li>○食生活改善推進員活動支援</li> <li>○健康長寿サポーター養成講座の実施</li> <li>○集団健診等の機会に健康づくりについての講座等を実施</li> <li>○富士見市健康づくり審議会の開催(2回)</li> <li>○食育推進事業の実施(講演会・料理教室等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○食生活改善推進員・会員数の維持・増加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ヘルスマイト養成講座の実施</li> <li>○食生活改善推進員活動支援</li> <li>○健康長寿サポーター養成講座の実施</li> <li>○集団健診等の機会に健康づくりについての講座等を実施</li> <li>○富士見市健康づくり審議会の開催</li> <li>○食育推進事業の実施(講演会・料理教室等)</li> <li>○埼玉県コバトン健康マイレージへの参加</li> </ul>
	ふじみ野市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○元気・健康都市宣言(H27.1.5)</li> <li>○筋力アップトレーニング事業の実施</li> <li>○元気・健康マイレージ事業の実施</li> <li>○元気・健康メニューの認定事業の実施</li> <li>○母子愛育会の活動支援</li> <li>○食生活改善推進員の活動支援</li> <li>○保健推進員の活動支援</li> <li>○自主グループの活動支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○筋力アップトレーニング事業参加者のモチベーションアップにつながる事業の実施</li> <li>○元気・健康マイレージ事業参加者のモチベーションアップにつながる事業の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○筋力アップトレーニング事業の実施</li> <li>○元気・健康マイレージ事業の実施</li> <li>○元気・健康メニューの認定事業の実施</li> <li>○母子愛育会の活動支援</li> <li>○食生活改善推進員の活動支援</li> <li>○保健推進員の活動支援</li> <li>○自主グループの活動支援</li> </ul>
	三芳町	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人間ドックの補助の周知</li> <li>実績・申請者244件</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○人間ドックの補助の周知</li> </ul>
	朝霞保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各市町における健康づくり会議等への参画</li> <li>○禁煙認証制度の推進(認証施設数:528)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○禁煙認証制度について、飲食店や理美容店等への広がりが困難</li> <li>○職域での環境整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各市町における健康づくり会議等への参画</li> <li>○受動喫煙防止対策講演(6月28日、1月29日)</li> <li>○禁煙認証制度の推進(認証施設数:528)</li> </ul>
・地域・職域保健の連携推進	朝霞地区医師会・地域包括ケア支援室	<ul style="list-style-type: none"> <li>○朝霞地区における地域包括システムの構築のための地域包括ケア支援室の運営</li> <li>○各市における多職種連携のための勉強会を開催</li> <li>○産業医相談会を実施し、労働者の健康相談、長時間労働の相談指導を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域包括ケア支援室を開設して、3年目になるが、相談件数及び療養支援ベッドの利用件数は、徐々に増加している状況</li> <li>○ストレスチェック制度の開始により事業所から産業医依頼が多くなっているが、対応できる産業医の数が少ない。</li> <li>○「長時間労働面接」、「健康診断に対する医師の意見聴取」が増えており、協力産業医の増加が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域包括ケア支援室を中心に各市多職種連携勉強会に参加し、連携を推進。</li> <li>○多職種連携ツールとして、MCSの利用を推進</li> <li>○療養支援ベッド協力病院と情報交換を推進</li> <li>○埼玉産業保健総合支援センター事業により産業医相談会、長時間労働面接、健診結果に対する医師の意見聴取を実施</li> <li>○年2回産業医研修会を実施し、産業医資格の取得及び産業医活動を支援</li> </ul>
	東入間医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の企業の従業員の健康管理などを行う産業医の知識等の向上のため、産業医講習会を実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ストレスチェックが新たな職務として加わる等、産業医の職務の範囲が増大し、責任が重くなるなかで、報酬額の増や保険の付保など産業医の執務条件の見直し。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ストレスチェック制度の周知徹底を図るとともに、通年、理事会での協議を通じて会員への周知を図っている。併せて報酬の引き上げについて、関係方面に働きかけている。</li> </ul>
	朝霞地区歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各市健康まつりへの参加</li> <li>○事業所歯科検診の実施</li> <li>○事業所特殊歯科検診の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事業所検診数の低</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各市健康まつりへの参加</li> <li>○健康イベントへの参加(志木市ノルディックウォーキング、朝霞市介護フェスタなど)</li> <li>○事業所歯科検診の実施 協会健保、市町村職員健保との連携</li> </ul>

主な取組	実施主体	28年度		29年度の進捗状況
		取組内容・実績	課題・問題点	
・地域・職域 保健の連携推進	入間郡市 歯科医師会			○東入間在宅歯科医療支援窓口の開設
	朝霞市	○健康づくり推進協議会 ・3回開催(14団体) ○健康まつり実行委員会 ・2回開催(6団体) ○健康まつりの実施 参加者数:620人 ○健康づくり関連の自主グループ支援 ○おとどけ講座の実施 14回 400人	○健康づくり推進協議会 市民の健康づくりの推進及び普及啓発を図るため、関係機関との連携を図る。 ○おとどけ講座 健康情報発信の周知	○健康づくり推進協議会 ・2回開催(14団体)*3回目開催予定あり ○健康まつり実行委員会 ・1回開催(6団体) ○健康まつりの実施 ○健康づくり関連の自主グループ支援 ○おとどけ講座の実施
	志木市	○JA、商工会での健診の受診者からの健診結果の提供 ○地域医療連絡協議会の開催(2回)。ジェネリック医薬品使用促進に向けた志木市と埼玉県による連携事業の実施(地域医療連絡協議会への県薬務課職員の出席) ○医療機関で健診を独自で実施した方から健診結果の提供	○医師会、歯科医師会、薬剤師会との連携	○商工会での健診の受診者からの健診結果の提供 ○地域医療連絡協議会の開催(2回)。ジェネリック医薬品使用促進に向けた志木市と埼玉県による連携事業の実施(地域医療連絡協議会への県薬務課職員の出席) ○医療機関で健診を独自で実施した方から健診結果の提供
	志木市 (食生活改善推進員協議会)	○ヘルスマイトクッキング(6回158人) おやこの食育教室、生活習慣病予防のための食生活改善支援事業、米を使った料理教室を開催 ○ヘルシーレシピ事業(18メニューの作成) 「地元の野菜を食べよう!事業」の一環として、地産地消の推進と、市民の野菜摂取量の増加を目的に、地元の農産物を使用したレシピを考案し、しきの土曜日等で市民に配布	○ヘルスマイトクッキング おやこの食育教室参加者が比較的少ない。学校でのチラシ配布で、参加者が増えたため、周知方法を工夫していきたい。 ○ヘルシーレシピ事業 しきの土曜日、アグリシップ志木で販売する農産物のレシピを置くことで、手に取る人が増えている。今後もレシピの数を増やし野菜摂取量を増やすきっかけづくりをしていきたい。	○ヘルスマイトクッキング おやこの食育教室、米を使った料理教室を実施した。2月に男性料理教室を開催予定 ○ヘルシーレシピ事業 「地元の野菜を食べよう!事業」の一環として、地産地消の推進と、市民の野菜摂取量の増加を目的に、地元の農産物を使用したレシピを考案し、市民に配布している。
	和光市	○市民まつりにおける健康フェアの開催。 ○出前講座(3回65名)。 ○埼玉病院主催の市民公開講座で健診、生活習慣病、がん検診等の講話		○市民まつりにおける健康フェアの開催。 ○出前講座。 ○埼玉病院主催の市民公開講座で健診、生活習慣病、がん検診等の講話
	新座市(新座市食生活改善推進員協議会)	○食生活における生活習慣病予防としての市内の公民館等での料理講習会 14回 327人 ○健康まつりにおいて、生活習慣病予防と野菜を使った健康料理の試食とレシピの紹介	○会員の高齢化	○食生活における生活習慣病予防としての市内の公民館等での料理講習会 14回 ○健康まつりにおいて、生活習慣病予防と野菜を使った健康料理の試食とレシピの紹介
	富士見市	○地域健康相談 町会・地区社会福祉協議会等と協働で実施 ○健康まつり	○各町会や地区社会福祉協議会が地域の健康課題に気づき、取り組めるような働きかけが必要	○地域健康相談 町会・地区社会福祉協議会等と協働で実施 ○健康まつり
	富士見市 (食生活改善推進員協議会)	○健康づくり料理講習会(年58回) ○健康まつりでの試食配付・知識の普及 ○富士見市健康づくり審議会		○健康づくり料理講習会 ○健康まつり ○富士見市健康づくり審議会
	ふじみ野市	○元気・健康づくり推進市民会議の開催 ○元気・健康フェアの開催 ○保健指導推進事業 ・腎内科専門医師による病態別学習会実施		○元気・健康づくり推進市民会議の開催 ○元気・健康フェアの開催 ○保健指導推進事業 ・腎内科専門医師による病態別学習会実施
	三芳町	○地域運動講座 28回開催771人参加 ○筋力アップ講座 21回開催634人参加 ○健康長寿サポーターの養成事業2日間71人 ○体力測定事業 3回46人 ○特定保健指導との連携事業 ○ソルティブを用いた減塩教育 ○簡易型自記式食事履歴質問票による教育 ○みよしカラダステーション ○国保収集事業 ○smileプロジェクト	○ソルティブを用いた減塩教育:国保データヘルス計画より高血圧対策が必要である。 ○smileプロジェクト:淑徳大学または女子栄養大学と事業内容を再考する。	○地域運動講座 ○筋力アップ講座 ○健康長寿サポーターの養成事業 ○体力測定事業 ○特定保健指導との連携事業 ○ソルティブを用いた減塩教育 ○簡易型自記式食事履歴質問票による教育 ○みよしカラダステーション ○国保収集事業 ○smileプロジェクト
朝霞保健所	○管内市町特定健診・特定保健指導担当課等へヒアリング調査を実施、状況やニーズの把握(6月) ○地域の課題解決するための施策の企画・立案能力を養うことを目的とした健康課題対策会議の開催(1月27日) ○地域保健と職域保健における健康増進の取り組み推進を目的とした研修会を西部地域保健所合同で開催(12月19日) ○管内事業所(企業内診療所、給食委託会社等)と連携した社員対象の栄養相談の実施。(10月 2日間)	○職域との連携が困難 ○企業健康保険組合・健康管理室の参加が少ない。	○管内市町特定健診・特定保健指導担当課等へヒアリング調査を実施、状況やニーズの把握(5月) ○地域の課題解決するための施策の企画・立案能力を養うことを目的とした健康課題対策会議の開催(1月29日) ○地域保健と職域保健における健康増進の取り組み推進を目的とした研修会を西部地域保健所合同で開催(12月12日) ○管内事業所(企業内診療所、給食委託会社等)と連携した社員対象の栄養相談の実施。(10月~11月 2日間)	



主な取組	実施主体	28年度		29年度の進捗状況
		取組内容・実績	課題・問題点	
・糖尿病対策の推進	朝霞地区医師会(糖尿病勉強会等)	○毎月、糖尿病勉強会を開催し、参加者を増加していくよう推進している。 ○メディカルケアスタッフの研修会の参加促進 ○生活習慣病重症化予防対策事業(糖尿病重症化予防プログラム)の実施		○毎月、糖尿病勉強会を開催し、参加者を増加していくよう推進している。 ○メディカルケアスタッフの研修会の参加促進 ○生活習慣病重症化予防対策事業(糖尿病重症化予防プログラム)の実施
	東入間医師会	○首長との地域医療連携会議で、糖尿病重症化予防対策事業の実施状況について、情報の共有化を図った。 ＜受診勧奨＞ 富士見市 133人 ふじみ野市 107人 三芳町 26人 ＜生活指導参加者数＞ 富士見市 15人 ふじみ野市 20人 三芳町 8人	○効果の検証をどのようにしていくのか、個人情報漏洩の防止対策の更なる検討。	○平成29年度の糖尿病重症化予防事業の結果は次の通り。 ＜受診勧奨＞ 富士見市 167人 ふじみ野市 78人 三芳町 34人 ＜生活指導参加者数＞ 富士見市 17人 ふじみ野市 21人 三芳町 4人
	朝霞地区歯科医師会	○糖尿病と歯周病についての啓発(リーフレット、HP、研修会など) ○日本糖尿病協会歯科医師登録医更新の勧奨	○登録医数の伸び悩み	○糖尿病連携手帳の普及 ○糖尿病と歯周病についての啓発(リーフレット、HP、研修会など) ○日本糖尿病協会歯科医師登録医更新の勧奨 ○糖尿病重症化予防事業における他科との連携。啓発。メディカルスタッフ対象糖尿病勉強会における歯科研修会
	朝霞市	○各種健診で、必要時、保健指導を実施 ・特定健康診査 7,378人 ・特定保健指導 211人 ・成人健康診査(生活保護受給者)247人 ・ " (30代のヘルスチェック) 426人 ○各種健康相談 ○あさか健康プラン21(第2次)による健康づくりの知識の普及啓発 ○生活習慣病重症化予防対策事業の実施(糖尿病性腎症の重症化予防) 対象:国保被保険者 内容:糖尿病性腎症患者に対する保健指導 期間:4ヶ月または6か月間 実施者数:11人(うち終了者は10人)	○各種健診 受診率の向上及び受診者数の増加 保健指導参加者の増加 ○各種健康相談 実施内容の工夫、周知の工夫 ○あさか健康プラン21(第2次)による健康づくり ・健康あさか普及員と協働した健康づくりの実施	○各種健診で、必要時、保健指導を実施 ・特定健康診査 ・成人健康診査(生活保護受給者) ・ " (30代のヘルスチェック) ○各種健康相談 ○あさか健康プラン21(第2次)による健康づくりの知識の普及啓発 ○生活習慣病重症化予防対策事業 ・ハイリスク者に対する生活指導の実施(4か月または6か月間のプログラム)
	志木市	○生活習慣病予防対策事業(糖尿病性腎症重症化予防対策事業):埼玉県モデル事業実施 1)受診勧奨事業 ・未受診者への受診勧奨事業 22人実施(受診者数4人) ・受診中断者への受診勧奨事業 3人実施(受診者数0人) 2)保健指導事業 ・参加者5人(指導終了者2人) 3)継続支援事業 保健指導参加者12人 (継続支援参加者2人)	○対象者はかなり多いが、朝霞地区4市への医療機関、実施医療機関になると対象者が大幅に減少する。	○生活習慣病予防対策事業(糖尿病性腎症重症化予防対策事業):埼玉県モデル事業実施 ・未受診者への受診勧奨事業 43人実施 ・受診中断者への受診勧奨事業 11人実施 ・生活指導:12人実施中
		○メタボ予防健診(12回 55人) 18歳以上40歳未満の市民で他に健診機会のない人が対象の健診を実施し、早期発見に努めている。	○メタボ予防健診 ・集団検診と同時開催で受診者増加。 ・若年からの生活習慣病予防の啓発の場。	○メタボ予防健診 ・特定健診集団検診等と同時開催。回数を1回増の13回とし、利便性を更に考慮し開催。
		○女性の健康チェックの実施(12回196人) 18歳以上40歳未満の女性市民で他に健診機会のない人が対象の健診を実施し、早期発見に努めている。	○女性の健康チェックの実施 ・特定健診等集団検診と同時実施とし利便性を考慮。 ・子どもの保育を実施し、子育て世代からの女性の健康づくりに寄与。 ・高脂血症、貧血が多い。	○女性の健康チェックの実施 ・13回実施予定 ・特定健診集団検診等と同時開催とし、利便性を考慮し開催
		○健康Step up(ステップアップ)講座(10回 延261人) 糖尿病予防のための運動や健康講話を実施	○健康Step up(ステップアップ)講座 60歳代後半から70歳代の参加が多く、健康ポイント事業参加者が当事業も参加。	○健康Step up(ステップアップ)講座 糖尿病予防のための運動や健康講話も含めて実施中
○栄養相談(4件) 管理栄養士による糖尿病および糖尿病予備軍の人への食事指導を実施			○栄養相談 管理栄養士による糖尿病および糖尿病予備軍の人への食事指導を実施中	
○地元の野菜を食べよう!事業(4回延86人) 市民の野菜摂取量増加を目的とした調理実習と栄養講話を実施		○地元の野菜を食べよう!事業 60歳代の参加が最も多く次いで70歳代であるため、若い世代へのアプローチが必要。	○地元の野菜を食べよう!事業 市民の野菜摂取量増加を目的とした調理実習と栄養講話を実施中	
○みんなの食生活講座(1回 25人) 「血糖値が気になる人の食事」を実施	○みんなの食生活講座 60歳代の参加が最も多く次いで70歳代であるため、若い世代へのアプローチが必要	○みんなの食生活講座 7月に「食事で血糖コントロール」を実施した。		

主な取組	実施主体	28年度		29年度の進捗状況
		取組内容・実績	課題・問題点	
・糖尿病対策の推進	和光市	○HbA1cが保健指導判定値以上の対象者に糖尿病の理解及び生活習慣改善指導のパンフレットを3年間の健診結果と共に個別送付した。 ○特定健診・特定保健指導にて対応した。 ○ヘルスアップ相談で看護師・保健師・看護師・管理栄養士が個別に対応した。 ○埼玉県生活習慣病重症化予防対策事業を実施した。糖尿病の重症化リスクの高い未受診者及び受診中断者への通知や電話等での受診勧奨(43名)を実施し、糖尿病性腎症に対する透析治療の重症化予防を主たる目的とした約6カ月間の訪問及び面接及び電話等による保健指導を実施(終了者4名)した。		○埼玉県生活習慣病重症化予防対策事業を実施。平成29年度は糖尿病の重症化リスクの高い未受診者及び受診中断者への通知や電話等での受診勧奨(57名)を実施し、糖尿病性腎症に対する透析治療の重症化予防を主たる目的とした約6カ月間の訪問及び電話等による保健指導を実施(初回面接12名継続支援3名)。 ○健診結果説明会で実施するヘルスアップ相談や電話・来庁による相談を実施。 ○特定健診・特定保健指導にて対応。 ○保健指導・健康相談員(8月～3/W)を配置し、ハイリスク者に対して、保健指導を実施(再掲)。
	新座市	○健康手帳の交付 配布数 381冊 自分の健康管理に役立ててもらうため、健康教室や健康相談などで配布 ○一日健康教室(7回延べ167人) ○ニコ筋半日教室(5回延べ99人) ○すこやか広場健康相談(36回延べ238人) ○すこやか広場栄養相談(36回延べ192人)	○健康手帳の普及啓発 ○周知方法の改善	○健康手帳の交付 配付数 92冊(11月末現在) 自分の健康管理に役立ててもらうため、健康教室や健康相談などで配布 ○一日健康教室 4回 103人 ○ニコ筋半日教室 2回 32人 ○すこやか広場健康相談 21回 145名(10月末現在) ○すこやか広場栄養相談 21回 123名(10月末現在)
		○30代までのからだチェック 特定健診の対象となる以前の30～39歳までの者のうち、職域等での健診機会のない者を対象に健康診査を実施した。		○30代のからだチェック 特定健診の対象となる以前の30～39歳までの者のうち、職域等での健診機会のない者を対象に健康診査を実施している。がん検診と同時受診が可能である。
		○特定保健指導 特定保健指導参加者に対し実施している講演会の中で、糖尿病性腎症の講座を実施した。	○特定保健指導 血糖値が気になる方についてはためになる内容だが、血圧だけが気になるという方には参加が少なかったり、自分のこととしてとらえられにくい。	○国民健康保険加入の40歳以上の方を対象にCKD及び糖尿病性腎症の講演会を実施する。
		○糖尿病性腎症重症化予防プログラムの実施 ハイリスク者15名への保健指導	○糖尿病性腎症重症化予防プログラムの実施 保健指導参加者では、途中脱落者が多い。	○糖尿病性腎症重症化予防プログラムの実施 ハイリスク者13名への保健指導
	新座市(食生活改善推進員協議会)	○メタボ予防料理教室～バランスの良い食事～(2回 38人)	○周知方法を工夫し、人数増を図る。	メタボ予防料理教室(2回 42人)
	富士見市	○生活習慣病予防教室 糖尿病予防コース ○糖尿病性腎症重症化予防プログラム		○生活習慣病予防教室 糖尿病予防コース ○糖尿病性腎症重症化予防プログラム
	ふじみ野市	○特定健診事後フォロー 特定保健指導対象者以外でHbA1cが高値の人に訪問実施 ○糖尿病性腎症重症化予防プログラム 医療受診勧奨通知及び保健指導		○特定健診事後フォロー 特定保健指導対象者以外でHbA1cが高値の人に訪問実施 ○糖尿病性腎症重症化予防プログラム
	三芳町	○通院中の糖尿病性腎症患者に対して、かかりつけ医の指示に基づき食事や運動による生活習慣の改善を促す保健指導を実施。 ・面談による指導3回 ・電話等による指導4回	○通院加療中の対象者は毎年それ程大きな変化もなく、また、保健指導の必要性が無いと考える方が多いため指導件数が増えない。	○かかりつけ医から参加の了承を得た患者へ参加案内する26.27年度方式に戻した。
	朝霞保健所	○健康づくり・食育等担当者会議(9月15日)、地域・職域連携推進会議(1月27日)において資料を提供し情報交換を実施。	○若年層からの糖尿病予防の知識普及	○健康づくり・食育等担当者会議(9月11日)、地域・職域連携推進会議(1月29日)において資料を提供し情報交換を実施。
その他	朝霞地区歯科医師会	○健康長寿サポーター養成講座の実施		○健康長寿サポーター養成講座の実施
	朝霞市	○健康長寿サポーター養成講座の実施(16回 241人)		○健康長寿サポーター養成講座の実施(9回 311人)
	志木市	○みそ汁塩分チェックキャンペーンの実施(4回延べ637人) 市民への減塩の啓発を目的に、0.8%濃度のみそ汁を試飲してもらったキャンペーンを実施	○人の集まるところで実施するため、周囲を意識した回答をしている様子もあった。	○みそ汁塩分チェックキャンペーンの実施 今年度から、県の啓発に合わせ0.7%の塩分濃度のみそ汁に変更し実施中。  ○おいしく減塩！減らソルトプロジェクトの実施(新規) 健康寿命のさらなる延伸をめざし、すべての年代において「減塩」をキーワードにした健康づくり事業を展開。 ・公立保育園、市内小中学校において減塩給食実施 ・市内公共施設5カ所に自動血圧計を設置 ・志木市国民健康保険特定健康診査(集団)において推定摂取食塩量検査の実施 ・おいしく減塩！減らソルトフェスタの開催(平成29年11月23日:来場者数904人)

第6次埼玉県地域保健医療計画 南西部保健医療圏 重点取組 進捗状況(実績)調査(その2)

重点取組	小児救急医療及び周産期医療
目標	休日や夜間における急病や事故に遭った子ども及び危険度の高い胎児、新生児が必要な医療を適切に受けられるよう、小児救急医療体制及び周産期医療体制の整備を進めます。また、子どもの急病に対する保護者の不安を解消するとともに、症状に応じた適切な受診を推進します。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小児救急医療体制の充実・強化</li> <li>・ 休日・夜間における適切な小児救急受診の推進</li> <li>・ NICUの整備など周産期医療体制の整備・充実</li> </ul>
実施主体	医師会、医療機関、消防本部、市町、保健所

主な取組	実施主体	28年度		29年度の進捗状況
		取組内容・実績	課題・問題点	
・ 小児救急医療体制の充実・強化	朝霞地区医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○協力医師の拡充、対応日の拡張対策</li> <li>○協力要望の高い日曜、祝日の休日診療へ協力医の派遣推進</li> <li>○12月～平成29年2月の3か月間を強化月間とし、毎日協力医を派遣</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎日の実施に至っていない。支援事業協力医の増加が必要</li> <li>○協力医師が不足しているため実施日が減少</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○協力医師の拡充、対応日の拡張対策</li> <li>○協力要望の高い日曜、祝日の休日診療へ協力医の派遣推進</li> <li>○今年度も12月～平成30年2月の3か月間を強化月間とし、毎日協力医を派遣</li> </ul>
	埼玉病院/朝霞地区医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小児二次救急病院として、365日24時間体制で小児救急患者を受けて入れている。一次救急は、朝霞地区医師会により、当院救急外来において交代制で1日2時間行われている。平成28年度の救急外来の受診患者数は9,089名で、救急車の受け入れは737件であった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○救急患者の急増、重症化により、小児科医のさらなる増員が必要。病床数不足のため受け入れができない場合がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○寄付講座の継続により小児科医を確保している。将来の小児科医を増やす目的で、平成27年度より初期臨床研修の小児科コースを新設し、現在は5名が在籍。平成30年度には新病棟が完成し、病床不足は解消の見込み。</li> </ul>
	朝霞市(朝霞地区4市、6市1町)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小児救急(二次救急) 休日及び夜間の二次救急医療の運営に対し、補助金を交付(6市1町) (国立病院機構埼玉病院とイムス富士見総合病院が対応)</li> <li>○小児科時間外診療 堀ノ内病院(月2回)、朝霞中央総合病院(週5回)、新座志木中央総合病院(週2回程度)が自主的に実施</li> <li>○小児救急医療寄附講座 慶応大学病院と協定を締結し、慶応大学病院から小児科医の派遣(埼玉県、朝霞地区4市)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○朝霞地区医師会との連携体制整備の継続</li> <li>○医師の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小児救急(二次救急) 休日及び夜間の二次救急医療の運営に対し、補助金を交付(6市1町) (国立病院機構埼玉病院とイムス富士見総合病院が対応)</li> <li>○小児科時間外診療 堀ノ内病院(月2回)、朝霞中央総合病院(週5回)、新座志木中央総合病院(週2回程度)が自主的に実施</li> <li>○小児救急医療寄附講座 慶応大学病院と協定を締結し、慶応大学病院から小児科医の派遣(埼玉県、朝霞地区4市)</li> </ul>
	志木市(管内6市1町)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○休日および夜間に小児科を有する第二次救急医療施設が輪番制で行う診療に対し、朝霞保健所管内6市1町で負担金を交付</li> <li>○朝霞地区の小児救急医療を確保するため、独立行政法人国立病院機構埼玉病院が実施する寄附講座事業に財政支援を実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○医師の確保</li> <li>○医師の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○休日および夜間に小児科を有する第二次救急医療施設が輪番制で行う診療に対し、朝霞保健所管内6市1町で負担金を交付する。</li> <li>○朝霞地区の小児救急医療を確保するため、独立行政法人国立病院機構埼玉病院が実施する寄附講座事業に財政支援を実施する。</li> </ul>
	和光市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○輪番制方式により行う休日及び夜間の第2次救急施設(小児病院群輪番制病院)の運営に対し、負担金を交付。</li> <li>○県、朝霞地区4市は慶応大学医学部に寄附講座を設置して埼玉病院へ慶応大学の小児科医の派遣を受けている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○輪番制方式により行う休日及び夜間の第2次救急施設(小児病院群輪番制病院)の運営に対し、負担金を交付。(イムス富士見総合病院・埼玉病院)</li> <li>○継続して県、朝霞地区4市は慶応大学医学部に寄附講座を設置して埼玉病院へ慶応大学の小児科医の派遣を受けている。</li> </ul>
	新座市(埼玉県朝霞地区4市医療機関)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日曜休日及び夜間、朝霞市、志木市、和光市とともに4市圏域内において、小児科を標榜する病院群が輪番制方式により二次救急医療を運営している。</li> <li>また、平成24年11月からイムス富士見総合病院を朝霞地区の小児救急輪番病院として位置づけ、受け入れを開始した。</li> <li>○平成24年10月に慶應義塾大学に小児救急医療寄附講座を設置し、埼玉病院へ医師の派遣を開始した。また、平成27年4月から同大学に周産期医療寄附講座を設置し運営を開始している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○埼玉病院への救急患者の集中により、埼玉病院の救急患者受け入れ態勢の崩壊が危惧される。</li> <li>今後の初期救急医療体制の整備が大きな課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○寄附講座による慶應義塾大学からの医師派遣が、埼玉病院の小児救急診療体制の強化を可能とし、朝霞地区第二次救急医療圏及び周辺地域の小児救急医療及び周産期医療体制を維持している。</li> </ul>
	ふじみ野市(東入間医師会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小児夜間の初期救急医療が必要な方のために、東入間医師会の医師が当番制で診療を行っている。ふじみ野市、富士見市、三芳町で協定を締結し、東入間医師会に対して補助金を交付している。診療科目:小児科(16歳未満)、診療日:月曜～土曜(日曜、祝日、年末年始、お盆期間を除く)、診療時間:午後8時～10時。診療日数:292日</li> <li>なお、休日急患診療所においても、小児科を実施している。診療日:日曜、祝日、年末年始。診療時間(小児科)は、午前9時～正午、午後1時～4時。診療日数:70日</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○診療科目、診療日、診療時間は平成28年度と同じ。</li> </ul>

主な取組	実施主体	28年度		29年度の進捗状況
		取組内容・実績	課題・問題点	
・小児救急医療体制の充実・強化	三芳町	○小児時間外医療として、月曜日から土曜日の20時から22時の診療を東入間医師会で実施した。		○前年度と同様の内容とする。
・休日・夜間における適切な小児救急受診の推進	朝霞地区医師会	○和光市で実施している適切な受診に関するDVD、母子手帳への受講シールの貼付を他市にも実施を検討するため、和光市以外の担当者による会議を行った。	○和光市以外の三市においても適切な受診に関するDVDによる講習の実施を検討したが、各市の事情により難しい。	○和光支部では、健診時に適切な受診に関するDVD講習を実施し、受講者には、受講シールを配布。 ○他市では、DVDの代わりに健診時にチラシや健康相談において説明を実施
	東入間医師会	○全体で、874人の受診者があり、内訳は次の通り。 富士見市 204人 ふじみ野市 546人 三芳町 85人 上記以外 39人	○参加する医師の高齢化に伴う医師の負担軽減と確保	○全体で、398人の受診者があり、内訳は次の通り。 富士見市 106人 ふじみ野市 235人 三芳町 42人 上記以外 15人(29/9/30現在) 10月から国立埼玉病院小児科医師の協力をいただく事にした。 また、富士見市との協議の結果、H30年度から第二診療所を廃止し、小児科医師の負担を軽減することとした。
	埼玉病院/朝霞地区医師会	○救急外来受診患者に小児救急の適正利用の呼びかけ。和光市では、4か月健診で、朝霞地区医師会作成のビデオにより、患者教育を行っている。	○健診での患者教育を行っている地域が限られているため、患者教育については十分とは言えない。	○和光以外の地区での健診や埼玉病院からも参加して行っている赤ちゃん学級などの機会を通じて啓蒙活動を行うことを継続する。
	朝霞市	○県の小児救急電話相談(#8000)について、保健センターガイド、広報、ホームページ等で市民への周知を図った。 ○県作成の「子どもの救急ミニガイドブック」を、お誕生訪問等で配布	○救急医療利用者数の増加 適正医療をすすめるため、かかりつけ医の普及を図る。 ○朝霞地区医師会との連携 体制整備の継続	○県の小児救急電話相談(#7119)について、保健センターガイド、広報、ホームページ等で市民への周知を図っている。 ○県作成の「子どもの救急ミニガイドブック」を、お誕生訪問等で配布
	志木市(朝霞地区4市)	○朝霞地区の小児救急医療を確保するため、独立行政法人国立病院機構埼玉病院が実施する寄附講座事業に財政支援を実施	○朝霞地区の小児救急医療を確保するため、独立行政法人国立病院機構埼玉病院が実施する寄附講座事業に財政支援を実施	○朝霞地区の小児救急医療を確保するため、独立行政法人国立病院機構埼玉病院が実施する寄附講座事業に財政支援を実施する。
	志木市	○子どもの救急ミニガイドブック(埼玉県作成)を新生児訪問指導時に配布し、救急対応等の知識の普及に努めた。また、適宜広報・ホームページ等を活用し情報提供に努めた。	○コンビニ受診の抑制	○子どもの救急ミニガイドブック(埼玉県作成)を新生児訪問指導時に配布し、救急対応等の知識の普及に努めた。また、適宜広報・ホームページ等を活用し情報提供に努めている。○はじめて赤ちゃん学級で小児救急医療機関への適正受診、救急対応等の知識の普及に努めている。
		○市ホームページにて、埼玉県小児救急電話相談(#8000)の周知 ○朝霞地区医師会(小児科医会)、朝霞地区3市(朝霞・新座・志木)で作成をした、小児救急医療機関への適正受診に関する資料を3か月児健診で配布し適正受診の普及啓発に努めた。		○市ホームページにて、埼玉県小児救急電話相談(#7119)の周知を行っている。○朝霞地区医師会(小児科医会)、朝霞地区3市(朝霞・新座・志木)で作成をした、小児救急医療機関への適正受診に関する資料を3か月児健診で配布し適正受診の普及啓発に努めている。
	和光市	○わこう版ネウボラガイド、広報わこう、和光市ホームページを活用して、情報(#8000など)を発信。 ○赤ちゃん訪問事業訪問時に、こどもの救急ミニガイドブックを配布。 ○4か月朝霞地区医師会和光支部による「子どものQQ講習所」としてDVD講習を実施し、終了後ポイントチェックシートを実施し、教習修了証(シール)を配布。 ○10か月健診時に、朝霞地区医師会和光支部による「子どものQQ講習」としてDVD講習を実施。	○取り組みから、適正受診につなげたい。	○わこう版ネウボラガイド、健康ガイド(全戸配布)、広報わこう、和光市ホームページを活用して、情報(#8000など)を発信。 ○赤ちゃん訪問事業訪問時に、こどもの救急ミニガイドブックを配布。 ○4か月朝霞地区医師会和光支部による「子どものQQ講習所」としてDVD講習を実施し、終了後ポイントチェックシートを実施し、教習修了証(シール)を配布。 ○10か月健診時に、朝霞地区医師会和光支部による「子どものQQ講習」としてDVD講習を実施。 ○埼玉県の救急電話相談「7119」(10月から)の周知
	新座市(朝霞地区4市)	○埼玉県の小児救急電話相談(#8000)等について、健康カレンダー、広報、ホームページ等で市民への周知を行っている。	○適正受診の呼び掛けを進めていくとともに、地域の医療は市民が守るという意識の高揚を図るための啓発活動が必要である。	○適宜、健康カレンダー、広報、ホームページ等を活用し、情報提供に努めている。
	富士見市	○市報、ホームページ及び市民便利帳に掲載し、救急医療体制の周知を図った。 ○出生届出時に「赤ちゃん手帳」を配布し、救急時の医療情報や相談先などの情報提供に努めた。		○これまでの周知方法に加えて、子育て応援情報モバイルサイトでも周知を実施。
ふじみ野市	○市報、ホームページ及び市民便利帳に掲載し、救急医療体制の周知を行った。 ○「子どもの救急ミニガイドブック」出生時に交付。 ○4か月児健診や新生児訪問時に救急医療体制や小児救急電話相談が掲載された資料を配付。		○平成28年度と同じ。	

主な取組	実施主体	28年度		29年度の進捗状況
		取組内容・実績	課題・問題点	
・ 休日・夜間における適切な小児救急受診の推進	三芳町	○毎年度全戸配布する保健センター事業一覧にて、埼玉県小児救急電話相談#8000と緊急医療情報案内を掲載する。なお、三芳町子育て支援のホームページにて日本小児科学会「子どもの救急」へのリンクを継続している。		○埼玉県小児救急電話相談時間が24時間化になったこと及び共通ダイヤル#7119を埼玉県が導入されたことに対する広報を掲載した。このことに伴い、子育て支援のホームページの修正を行った。
・ NICUの整備など周産期医療体制の整備・充実	埼玉病院	○NICU4床で稼働中。地域周産期母子医療センターとして埼玉県のシステムに参加し、積極的に母体、新生児搬送の受け入れを行い、受け入れ件数は増加している。	○NICU病床数の不足と、新生児科医の不足。	○地域周産期母子医療センターとして、高度医療を継続して提供するために、新生児専門医の確保を目指す。平成30年度新棟完成後段階的にNICUは増床し、12床とする予定。
	朝霞市(朝霞地区4市)	○周産期医療寄附講座 慶応大学病院と協定を締結し、慶応大学病院から産科医を派遣(埼玉県、朝霞地区4市)	○医師の確保	○周産期医療寄附講座 慶応大学病院と協定を締結し、慶応大学病院から産科医を派遣(埼玉県、朝霞地区4市)
	志木市(朝霞地区4市)	○朝霞地区の周産期医療体制を確保するため、独立行政法人国立病院機構埼玉病院が実施する寄附講座事業に財政支援を実施。	○医師・医療体制の確保	○朝霞地区の周産期医療体制を確保するため、独立行政法人国立病院機構埼玉病院が実施する寄附講座事業に財政支援を実施する。
	和光市	○県、朝霞地区4市は慶応大学医学部に寄附講座を設置して埼玉病院へ慶応大学の産科医の派遣を受けている。	○医師の確保	○県、朝霞地区4市は慶応大学医学部に寄附講座を設置して埼玉病院へ慶応大学の産科医の派遣を受けている。
	新座市(医療機関)	○慶應義塾大学からの新生児専門医の派遣により、埼玉病院における周産期診療、とくに平成24年度から新設されたNICUでの診療レベルアップがもたらされ、重症新生児への対応を含む地域の周産期診療の充実が図れた。 ○平成27年度から周産期医療の寄附講座を設置している。	○小児科だけでなく、産科医の増員が必要である。	○慶應義塾大学から埼玉病院へ新生児専門医を派遣。
その他	朝霞地区医師会	○乳幼児健診における四市担当者と実施状況等の会合を行う。 ○健診時の健診者数に対する派遣医師数の調整 ○誤接種等の発生時に、医師会への報告を徹底し、会員向けの注意喚起の実施		○乳幼児健診における四市担当者と実施状況等の会合を実施 ○健診時の健診者数に対する派遣医師数の調整 ○四市、各担当医の健診方法が異なるように健診マニュアルを作成、また研修会の実施 ○小児在宅医療提供システム(ASZシステム)の運用(朝霞保健所・各市担当課・近隣病院への利用方法の配布)
	埼玉病院(保健所、医師会)	○朝霞地区小児在宅システムを構築し、NICU、PICUからの退院患者の在宅移行支援を行っている。平成28年度には埼玉県立小児医療センターでのシンポジウムでシステムについて紹介した。10名以上の在宅に関与した。	○センター病院、大学病院への周知が不十分である。	○センター病院、大学病院へパンフレットを送付したり、学会での発表を通して周知を図っている。在宅移行症例は増加している。
	朝霞地区薬剤師会			○育児に悩む母親の相談・支援 ○乳幼児のかかりつけ薬剤師の推進
	埼玉県南西部消防	○小児・乳児に対する救命処置を含む救急講習を行っている。平成28年度は、上級救命講習に235名、保育園等の救急講習に790名が受講した。	○ひとりでも多くの方に救命講習を身につけていただくための環境を整えていきたい。	○子どもの急病時などに適切な対応が取れるよう、小児・乳児に対する救命処置を含む講習を行っている。平成29年度は、上級救命講習に201名、保育園等の救急講習に404名が受講している。(平成29年11月1日現在)
	入間東部消防本部	○平成28年度は、上級救命講習を2回開催し、55名が受講した。また、保育園等の講習では600名が受講した。		○平成29年度は、上級救命講習を2回開催し60名が受講、普通救命講習Ⅲを6回開催し150名が受講している。(平成29年11月20日現在)

第6次埼玉県地域保健医療計画 南西部保健医療圏 重点取組 進捗状況(実績)調書(その3)

重点取組	精神保健医療福祉対策
目標	早期発見、早期治療を促すための精神疾患に対する正しい理解を促進します。また、病状やニーズに応じた、適切な医療・福祉サービスが受けられ、住み慣れた地域で安心して生活が継続できる体制づくりを目指します。さらに、地域ぐるみの自殺予防対策を推進します。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>精神疾患への正しい知識の普及</li> <li>精神保健医療福祉に関する相談窓口の充実と連携</li> <li>地域生活支援体制の整備</li> <li>自殺予防対策の推進</li> </ul>
実施主体	市町、保健所、医師会、医療機関、薬剤師会、福祉機関、教育機関、労働機関、保健衛生団体

主な取組	実施主体	28年度		29年度の進捗状況
		取組内容・実績	課題・問題点	
精神疾患への正しい知識の普及	朝霞地区医師会(埼玉県医師会)	○埼玉県医師会・朝霞地区医師会で開催されるうつ病対策・メンタルヘルス対策の講習会等への参加を促進している。		○引き続き埼玉県医師会・朝霞地区医師会で開催されるうつ病対策・メンタルヘルス対策の講習会等への参加を促進している。
	朝霞地区歯科医師会	○認知症対応力研修会の実施		○認知症対応力研修会の実施 認知症サポーター講座の開催
	上福岡・大井薬剤師会			○オレンジカフェにて認知症や生活習慣病についての健康講座を行った。(5月)
	朝霞市	○精神保健福祉講演会(164人) ○精神保健家族教室(3回 延18人)	○精神保健福祉講演会 市民ニーズにあった企画(テーマ、内容の設定) ○精神保健家族教室 実人数が増えない(対象者の掘り起こし)	○精神保健福祉講演会は平成28年度で廃止とし、あさか健康プラン21推進事業である「こころの健康」の施策に統合していく。 ○精神保健家族教室事業は平成28年度で廃止とするが、情報を得られずに過ごしている家族もいるため、今後は個別フォローを強化し、本人や家族が社会資源の中で自身に合う場所を見つけることができるよう、障害福祉課や家族会との協力・連携をしながら支援をしてい
		○認知症サポーター養成講座の実施:講座実施回数19回、参加者数1,281名(延) ○認知症ケアパスの配布:2,500部 ○認知症予防講演会の開催		○認知症サポーター養成講座の実施:講座実施回数9回、参加者数572名(延) 養成数4,879名(29年11月現在) ○認知症ケアパス第2版 作成中(30年2月発行予定)
	志木市	○こころの安全週間を5月に設定し、自殺予防週間のある9月も合わせて東武鉄道と共催で啓発キャンペーンを2回実施し物資5000個配布。広報や健康まつりで啓発を実施 ○妊娠届出時等に産後うつ予防のためのリーフレットを配付(配布数733部) ○精神保健家族教室(2回 延17人)対象疾病/うつ病 【長寿応援課】 ○認知症サポーター養成講座の実施:講座実施回数16回、参加者約900名 ○認知症ケアパスの配布:2,500部 ○認知症予防講演会の開催 ○認知症初期集中支援チームによる支援の実施	○自殺の原因はさまざまであり、本人が訴えないため啓発が難しい。	○こころの安全週間を5月に設定し、5月にはノルディックウォーキング全国大会(啓発ティッシュ約800配布)と、9月は東武鉄道と共催で啓発キャンペーンを実施(啓発ティッシュ2000配布)。広報や健康まつりで啓発実施した。また、健康まつりではこころの健康啓発コーナーを設置。 ○妊娠届出時等に産後うつ予防のためのリーフレットを配付。 ○産後うつケア推進事業を開始。 ○認知症サポーター養成講座の実施:講座実施回数12回、参加者約800名(延べ養成数約3,800名)(28年11月現在) ○認知症予防講演会の開催:認知症予防、在宅医療・介護をテーマに基調講演と分科会を開催(28年10月) ○認知症初期集中支援チームによる支援の実施:11ケース実施(28年12月現在)
	和光市	【社会援護課】 ○個々のケース及びその関係者に対して、担当職員から病気の特徴や支援方法などアドバイスをしている	【社会援護課】 ○市民に対し誰でも参加できるような講演会などの普及、啓発活動はおこなっていない。	【社会援護課】 ○個々のケース対応になっている。
	新座市	○実施なし	○統合失調症をテーマとした家族教室を毎年開催しているが、年々参加者が減少傾向にあるため、27年度はテーマをうつ病に変更して家族教室を開催したが、参加者が集まらず費用対効果を考え28年度は実施せず、隔年開催とすることとした。 平成29年度は、全戸配布チラシにて周知し、参加者が集まったため、テーマや周知方法を検討していく必要あり。	○精神保健家族教室 「統合失調症の方の社会復帰について」(2回コース) 1回目 対象:家族及び一般 内容:社会復帰についての講演 講師:精神保健福祉士 参加者:33名 2回目 対象:家族 内容:体験談の発表、グループワーク 講師:精神保健福祉士、家族会会員 参加者:17名 全回参加者延べ人数:50名

主な取組	実施主体	28年度		29年度の進捗状況
		取組内容・実績	課題・問題点	
・ 精神疾患への正しい知識の普及	富士見市	○あいさポーター研修において、障がい全体の理解を行う研修を市内で年間43回実施し1530人があいさポーターとなった。当事者体験を聞く機会があるが、内17回が精神障がい当事者。	○精神障がいには特化したものではなく、身体的障害も含めた障がい全般を対象とした研修なので、さらに掘り下げて知りたいという人への対応を要する。	○あいさポーター研修上半期18回539人受講
	ふじみ野市	【障がい福祉課】 ○こころの健康講座実施予定 平成28年度は「こころと脳につながる食事」と「大人の発達障害・イイトコサガシ」の2講座を実施。合計で68名の参加があった。	【障がい福祉課】 ○父親の参加を狙い、開催日はどちらも土曜日に行ったが、父親の参加は少なかった。今後は周知の方法等についても検討する。	【障がい福祉課】 ○「高次脳機能障害」について、当事者会の方を招き、講義形式で講座を開催する予定である。平成30年1～2月に実施予定。
	三芳町	○家族教室の開催 ○協力者養成講座の開催 ○あいさポーター養成講座の開催	○知識の普及は、継続的に実施する必要がある。また、家族教室の対象者の掘り起こしが必要。	○家族教室の開催 ○障がい者理解として、町が委託実施している「あいさポーター養成講座」の中で、精神疾患者の理解も含め開催した。
	朝霞保健所	○精神保健個別支援技術研修会 個別事例への支援技術の向上を目的に、精神科医・心理士に助言を依頼し、管内市町の保健センター・福祉関係課、地域生活支援センター等の職員を対象とした事例検討会を実施 5回開催 参加者延べ81名 ○ひきこもり家族教室 いわゆる「社会的ひきこもり」者の家族を対象として、ひきこもり者への適切な対応の学習や、家族の孤立化防止を目的に実施 2回開催 参加者延べ23名 ○ひきこもり公開講座 1回41名 ○ひきこもり支援に係わる情報交換会1回12名	○支援技術の向上を目的とした継続的な研修の場の提供が必要。関係機関職員への周知の徹底や、受講意欲が高まるような周知方法にする必要あり  ○ひきこもり者への適切な対応の学習や、家族の孤立化防止のため、継続的開催が必要。個別相談から、支援の必要性の高い家族を参加に繋げる必要がある。	○精神保健個別支援研修会 5回開催(6月、9月、10月、12月、2月) うち3回は実施済み 延べ48名  ○ひきこもり家族教室 2回開催(11月、12月) うち1回は実施済み 参加者:9名 ○ひきこもり研修会 2回開催予定 ○ひきこもり支援に係わる情報交換会1回9名
・ 精神保健医療福祉に関する相談窓口の充実と連携	朝霞地区医師会 (朝霞産業保健推進センター)	○産業医相談会において、事業所、労働者の相談指導を実施し、産業医研修会、メンタルヘルス関係の講習会等受講を推進する。 ○ストレスチェック制度に関する情報提供 ○認知症サポート医養成研修会の受講推進		○引き続き産業医相談会において、事業所、労働者の相談指導を実施し、産業医研修会、メンタルヘルス関係の講習会等受講を推進する。 ○ストレスチェック制度の実施に伴い産業医の研修会及び情報提供を行う。 ○認知症サポート医研修会の受講により各市初期集中サポート医を配置。
	朝霞地区歯科医師会	○精神科病棟での検診の実施 精神障害者デイサービスでの相談検診事業の実施		○認知症デイサービスでの相談、検診事業の実施
	朝霞市	○精神保健相談(電話・面接・相談) (面接40件、電話101人、訪問18件) ○こころの健康相談 (11回 16件)	○相談体制の充実の継続 ○必要時、関係機関との連携	○精神保健相談 ○こころの健康相談
	志木市	○認知症初期集中支援チームによる支援の実施 相談支援件数:13件 ○精神科医または心理カウンセラーによるこころの相談12回(28件)、保健師による精神保健相談(電話/随時、面接・訪問/予約制)延714件 ○関係機関と連携して個別支援を実施している。	○こころの相談は月1回の実施でタイムリーに相談につながらないこともある。関連機関との連携の推進	○認知症初期集中支援チームによる支援の実施:7件(29年11月現在) ○精神科医または心理カウンセラーによるこころの相談月1回、保健師による精神保健相談を随時実施している。 ○関係機関と連携して個別支援を実施している。
	和光市	【保健】 ○精神科医師または臨床心理士がこころの問題で悩んでいる方やその家族への相談として、こころの相談を年11回実施。 ○こころの相談員(保健師)の配置(週3) ○保健師による随時相談の実施(電話・窓口・来所) 【社会援護課】 和光市地域生活支援センターと、和光市中央障害者相談支援事業所の2箇所で、継続支援を実施。必要に応じてサービス利用調整、医療機関・関係機関との連携等を図り、支援している。	【社会援護課】 ○和光市の地域包括支援システムの構築に向けて市内に相談事業所を整備しているが、北地域の相談支援事業所の整備がまだ行っていない。	【保健】 ○29年度も継続して実施。こころの相談員の配置は週3回で実施している。 【社会援護課】 平成28年度と同様地域包括支援システムの構築に向けて北地域の相談支援事業所の整備に努めている。
	新座市	○来所相談 実人数67名(延べ108名) ○家庭訪問 実人数35名(延べ70名) ○電話相談 延べ844名 ○精神保健相談 開催数:8回(うち2回は未実施。内訳①相談希望なし②相談者の都合によるもの) 来所による精神科医師への相談事業 ・実件数 12件 来所相談者数 17名 ・カルテ相談 2件	○精神保健相談では、うつ病の相談の他、ひきこもりや発達障がい、アルコール依存等の内容も増えており、年々相談内容が複雑かつ多岐にわたるようになってきている。	○来所相談 集計中 ○家庭訪問 集計中 ○電話相談 集計中 ○精神保健相談 開催数:5回 実件数:8件 来所者:9名(11月末現在)

主な取組	実施主体	28年度		29年度の進捗状況
		取組内容・実績	課題・問題点	
・精神保健医療福祉に関する相談窓口の充実と連携	富士見市	○相談支援事業所、市内精神障がい者を主な対象としたNPO法人等との定例協議、同行訪問・受診、個別支援会議等実施 ○2市1町指定特定相談支援事業所ネットワーク連絡協議会への参加(定例毎月)	○いまだ、精神科受診ということを知りたくて、支援に消極的になる機関があり、精神障がい者が受けられるべきサービスに制限が出てしまうことがある。	○10月から基幹相談支援事業所が開設し、精神保健福祉士が配置されている。
	ふじみ野市	【障がい福祉課】 ○支所(地域福祉課)・障がい者相談支援センターとの連携 随時 【保健センター】 (1)健康相談の中で職員(保健師・臨床心理士・精神保健福祉士)によるこころの健康相談の実施 (2)年8回、臨床心理士・精神科医師によるこころの健康個別相談の実施	【障がい福祉課】 ○継続実施 【保健センター】 ○相談内容が多岐に渡るため、さらなる専門職種同士の連携や対応が課題である。 ○地域の医療機関が少ないこともあり、専門職の相談の充実を図る必要がある。	【障がい福祉課】 ○随時実施。障がい者相談支援センターと連携 【保健センター】 ○職員対応相談の継続実施 ○年12回、専門職種(臨床心理士・精神科医)による相談を実施予定。
	三芳町	○月に1回、精神科医による「こころの健康相談」を実施。広報紙、ホームページにより周知した。 ○町職員及び委託先事業所と連携し、相談(電話・来所・メール・訪問)を実施	○ひきこもり、発達障がい、気分障がい等相談内容が複雑になってきている。	○月に1回、精神科医による「こころの健康相談」を開催 ○10月より生活相談の窓口を町単独で委託し、相談職員の人数を増やし体制を整えた。 ○メンタルヘルスチェックシステム活用による相談窓口の案内に繋がるよう、情報発信をしている。また、学校や事業を通してチラシを配布し情報提供した。
	朝霞保健所	○精神保健連絡調整会議 管内市町の保健センター・障害福祉関係課等との情報共有や連携強化のため実施 1回開催24名出席 ○ひきこもり専門相談 臨床心理士による専門相談を月1回実施 7回開催 利用者延べ12名 ○随時相談 ・家庭訪問 延べ380件 うち統合失調症等 341件(90%) アルコール関連 15件(4%) ひきこもり相談 17件(4%) ・面接相談 延べ3810件 うち統合失調症等 3437件(90%) アルコール関連 135件(4%) 心の健康 60件(2%) 老人精神保健 62件(2%) ・電話相談 延べ3115件 (内容別は未集計)	○管内市町との情報共有や連携強化のため、会議の継続が必要。効果的な事業の取組等について、タイムリーな情報共有が課題 ○ひきこもり専門相談は実施機関が限られており、継続が必要。事業の周知をさらに図る必要あり。専門相談の効果的な活用や継続支援のため、管内市町相談関係者との連携と、基本的な相談スキルの向上が課題 ○随時相談は管内市町保健福祉関係者からの相談や、その紹介による相談が増加。相談後の対応においても関係者との連携が重要	○精神保健連絡調整会議(市町関係者) 1回開催 24名出席 ○ひきこもり専門相談 月1回の実施予定 11月まで5回実施 利用者延べ7名 ○随時相談実施 ○管内市町で開催する事例検討会に参加 定期的な支援事例の情報共有や、困難事例の処遇検討会等に参加
・地域生活支援体制の整備	朝霞地区医師会	○各市のメンタルヘルス関係の窓口やメンタルヘルス対策講演会に医師を派遣している。 ○埼玉県認知症疾患医療センター(菅野病院)との連携による認知症患者及び家族への支援体制の構築		○引き続き各市のメンタルヘルス関係の窓口やメンタルヘルス対策講演会に医師を派遣。 ○埼玉県認知症疾患医療センター(菅野病院)との連携による認知症患者及び家族への支援体制の構築
	朝霞地区歯科医師会	○在宅歯科窓口の設置による居宅での歯科診療及び適切な受診、歯科保健相談の実施		○在宅歯科窓口の設置による居宅での歯科診療及び適切な受診、歯科保健相談の実施
	朝霞市	○精神保健福祉担当者会議(7回) ・地域での精神保健福祉活動の連絡調整、相談指導などの支援内容の検討等	○関係機関との連携	○精神保健福祉担当者会議
	志木市	○認知症徘徊模擬訓練の実施:6回実施 ○認知症カフェ事業の実施:市内5ヶ所の地域包括支援センター主催で毎月1回程度実施 ○認知症地域支援推進員の配置:各地域包括支援センターに5名、市に2名配置		○認知症徘徊模擬訓練の実施:4回実施(29年11月現在) ○認知症カフェ事業の実施:市内5ヶ所の地域包括支援センター主催で毎月1回程度実施 ○認知症地域支援推進員の配置:各地域包括支援センターに5名、市に1名配置
		○相談技術指導(スーパーバイズ)3回実施。 保健所、介護保険、教育関係の事業所や、女性相談の担当者なども参加している。 ○保健所とケースレビュー年2回実施し連携を図る。	○関連機関との連携の推進。精神保健相談の特性から相談技術の獲得が必要である。	○相談技術指導(スーパーバイズ)年3回実施予定。2回実施済み。保健所、介護保険、教育関係の事業所や、女性相談の担当者に加え、今年度より自殺予防対策庁内連絡会議の実務者にも声掛けし、自殺予防の共有を図っている。 ○保健所とケースレビュー年2回予定。
	和光市	【社会援護課】 ○本人のニーズや状況に応じて、在宅サービスや通所サービスを調整。そのほか、必要に応じて成年後見制度等の利用支援や関係機関との連携を行った。	【社会援護課】 ○多問題世帯が多く、精神障害以外の問題による対応困難が目立っている。他職種他機関との連携強化が必要。	【社会援護課】 ○丸山台に精神障害者GHが開設準備中(平成29年度予定)。市内に就労移行支援事業が開設。権利擁護センターも開設し、成年後見制度の周知や利用支援をおこなっている。
新座市	○ソーシャルクラブ「シナモン」 精神障がい者の方の仲間づくりや社会参加の促進をすすめ、地域で生活できるように支援する目的で開催している。 年間42回 延べ参加人数176名	○就労につながり、社会生活に参加できるようになる方もいるが、症状が慢性的で加齢に伴い社会参加のチャンスが少なくなる方もいる。また、病状が不安定で、継続しての参加が難しく、欠席が続く登録者が少ない。	○ソーシャルクラブ「シナモン」 開催数:22回 参加延べ人数:66名(10月末現在)	



主な取組	実施主体	28年度		29年度の進捗状況
		取組内容・実績	課題・問題点	
・ 地域生活支援体制の整備	富士見市	○相談支援事業所、市内精神障がい者を主な対象としたNPO法人等との定例協議、同行訪問・受診、個別支援会議等実施 ○精神科医師相談(こころの健康相談) 毎月1回 ○市職員(保健師、精神保健福祉士、社会福祉士等による)来所相談、電話相談、訪問相談の実施	○医療機関から直接相談支援事業所へ連絡が入り、市が知らないまま支援が行われていくケースが増えており、情報共有の強化が必要。住居、夜間土日対応が困難。	○10月から基幹相談支援事業所が開設し、精神保健福祉士が配置されている。
	ふじみ野市	【障がい福祉課】 ○予定どおり、精神保健福祉連絡会を6回、ケース検討を6回実施済 ○事務局は行政、会議運営を市内の精神保健に関するNPO法人が行うことになった。	【障がい福祉課】 ○精神保健福祉連絡会について、医学的な立場のメンバーの招集を図りたい。	【障がい福祉課】 ○相談支援センター、就労支援センターとの連携 ○精神保健福祉連絡会を6回中4回、ケース検討を6回中5回実施済
	三芳町	○福祉課の相談窓口に加え、障がい者相談支援センターへの委託継続により、相談体制の充実を図った。 ○関係機関と個別支援会議の実施	○相談件数の増加がみられ、今後は担当職員の相談技術の向上に努めていく必要があり、関係機関との事例検討等さらに行う必要がある。	○町内の相談支援センター及び相談支援事業所の連絡会議を実施 ○必要時、個別支援会議を行うとともに定期的に事例検討を行った。
	朝霞保健所	○精神保健福祉ネットワーク会議 管内精神保健福祉等関係機関のネットワークを構築し精神障害者の支援充実を図るため、会議を実施 2回実施 参加者延べ67名 ○管内市町の自立支援協議会に出席	○関係機関のネットワークの形成の場が継続的に必要 ○緊急業務対応のため、自立支援協議会への出席が不可能な場合あり。日常業務を通じての連携にも努める必要あり	○ネットワーク会議 1回開催 参加延べ34名 ○管内市町の自立支援協議会に出席
・ 自殺予防対策の推進	朝霞地区医師会(埼玉県医師会)	○埼玉県医師会等で開催される自殺予防対策講習会等へ参加を呼びかけ、専門的知識、技能の修得を推進		○埼玉県医師会等で開催される自殺予防対策講習会等へ参加を呼びかけ、専門的知識、技能の修得を推進
	朝霞市	○ゲートキーパー研修(4回 75人) 教職員・庁内職員向けに分けて実施 ○メンタルチェックシステム「こころの体温計」の実施 ○自殺予防のパンフレット配布(3月1日)	○研修対象者の設定を含め、より効果的な内容の検討(企画)	○ゲートキーパー研修 ○メンタルチェックシステム「こころの体温計」の実施 ○自殺予防のパンフレット配布
	志木市	○小学校高学年とその保護者を対象に学校公開日に自殺予防対策授業を年2回(参加者、児童174人、保護者163人)実施した。また、養護教諭と連携し、教職員を対象としたゲートキーパー養成講座(参加者28名)を開催。 ○庁内連絡会議を3回開催。	○身近な相談を受ける市民(子ども・家族や民生委員等)に自殺予防についての視点が持てるように啓発。様々な市民を対象に事業の実施が必要である。	○小学校高学年とその保護者を対象に自殺予防対策授業を年2回実施予定。 ○思春期の保護者向けのゲートキーパー養成講座(参加者27名)を開催。 ○庁内連絡会議を3回開催。 ○自殺対策計画策定のための市民意識調査を実施。
	和光市	【保健】 小中学生を対象に「いのちの標語」を募集し、市民まつりにおいて掲示。 ○メンタルヘルスチェックを市ホームページに掲載し、周知、利用促進を図った。 ○9月を和光市こころの健康づくり月間とし、広報掲載、図書館に「こころの健康づくり」コーナーを設けた。	【保健】 ○自殺予防対策事業に対する反応の把握(メンタルヘルスチェックの満足度、こころの健康づくり関連の図書の貸し出し状況)にさらにつとめる。	【保健】 ○メンタルヘルスチェックの満足度チェックをシステムに入れた。 ○9月の和光市こころの健康づくり月間に、図書館に「こころの健康づくり」コーナーを設置した。(3月にも予定あり) ○小中学生を対象に「いのちの標語」を募集し、市民まつりにおいて掲示した。3月の自殺対策強化月間でも掲示する予定。 ○「和光市自殺対策計画」を今年度中に策定予定
	新座市	○自殺予防対策事業 (1)ゲートキーパー養成講座 ①「自殺予防について」対象:市職員 参加人数:25名 講師:大学教授 内容:講義・ロールプレイ他 ②「一歩、一歩はじめよう『自分が好き』への子育て」対象:子育て世代の市民 参加人数:31名 講師:看護師 内容:講演・グループトーク他 ③「思春期の自殺問題」 対象:養護教諭 参加人数:26名 講師:大学教授 内容:講義及びDVD上映 (2)自殺予防啓発事業 ①自殺予防対策チラシ全戸配布 配付数:75,100部 内容:こころの健康相談窓口一覧、自殺予防の普及啓発等 ②図書館特集展示 図書館の協力を得て、自殺予防に関する図書やパネルの展示 9月開催 ③ツイッター 8月の新学期直前及び自殺予防週間初日と最終日にツイート	○思春期向けの自殺予防をテーマに、養護教諭を対象としたハイリスクゲートキーパー養成講座を開催。保健センターからはアプローチの難しい思春期世代への自殺予防対策を実施することが出来た。 ○ゲートキーパー養成講座については、対象ごとに内容を検討し、参加者の視点に合わせ、ゲートキーパーの役割をより身近に感じ、学んでいただけるよう開催した。その結果、参加者からのアンケートでは満足度が高かった。	○自殺予防対策事業 (1)ゲートキーパー養成講座 ①「マインドフルネスを体験してみよう」(ハイリスク者支援)9月23日開催 対象:18歳以上の市内在住・在勤者 参加人数:49名 講師:臨床心理士 内容:講義・体験(保育付) ②「いまどきの睡眠について」9月30日開催 対象:18歳以上の市内在住・在勤者 参加人数:71名 講師:医師 内容:講義・軽体操(保育付) ③「自殺予防について」2月開催予定 対象:市職員 講師:大学教授 内容:講義・グループワーク ④「こころとからだのアルコール健康講座」(朝霞保健所・志木市・新座市共催事業)9月15日、10月20日、11月17日 対象:節酒に関心のある方 参加人数(新座市民):3日間延人数32名 講師:医師 内容:講義・グループワーク (2)自殺予防啓発事業 ①自殺予防対策チラシ全戸配布

主な取組	実施主体	28年度		29年度の進捗状況
		取組内容・実績	課題・問題点	
・自殺予防対策の推進	新座市	④ホームページ・広報 9月の自殺予防週間、11月のアルコール関連問題啓発週間及び3月の自殺予防月間に合わせて周知・啓発記事を掲載。		配付数75,700部 内容:こころの健康相談窓口一覧、自殺予防の普及啓発等 ②図書館特集展示 図書館の協力を得て、自殺予防に関する図書やパネルの展示 9月開催 ③ツイッター 8月の新学期直前及び自殺予防週間初日と最終日にツイート ④ホームページ・広報 9月の自殺予防週間、11月のアルコール関連問題啓発週間及び3月の自殺予防月間に合わせて周知・啓発記事を掲載。
	富士見市	○若年層対象講座「アンガーマネジメント」 ○市ホームページによるセルフチェックシステム「こころの体温計」実施	○アクセス数などはできるものの、効果測定が困難	○計画策定に向けて検討。 ○年度末に鉄道会社とのキャンペーンを企画 ○市ホームページによるセルフチェックシステム「こころの体温計」実施。
	ふじみ野市	【障がい福祉課】 ○引続き、自殺予防について協力していく。  【保健センター】 (1)庁内連絡会議開催(年3回) (2)ゲートキーパー養成研修(庁内職員・学校関係職員・民生委員向け) 参加人数(計)146人 (3)こころの健康セミナー「親子間コミュニケーション入門～子どもへのかかわり方を考える～」22名 (4)図書館展示 図書館の協力を得て、自殺予防に関する図書・パンフレットの設置	【障がい福祉課】 ○専用シートの記載と保健センターへの報告 2件/年  【保健センター】 ○庁内連絡会議の構成員が毎年変わるため、継続的な議論がされにくい。 ○ゲートキーパー養成の範囲を今後、どのように拡大していくか。 ○他課との連携の仕組み作りが必要である。	【障がい福祉課】 ○窓口で相談を受けて場合、専用シートに記入し、保健センターへ情報提供を行う。  【保健センター】 ○庁内連絡会議開催(年3回) ○ゲートキーパー養成研修(庁内職員・学校関係職員・保健推進員向け) ○こころの健康セミナー ○図書館展示
	三芳町	○退職前後の男性向けに「うつ予防講座」を開催 ○自殺予防対策庁内連絡会議を開催 ○教員対象に「うつ予防講座」を開催	○自殺予防対策庁内連絡会議を定期開催し、町としての自殺予防の意識を引き続き高めていく必要がある。	○退職前後の男性向けに「うつ予防講座」を開催 ○学校職員対象に「うつ予防講座」を開催
	朝霞保健所	○県民向け講演会「こころと体の健康とアルコール健康講座」を実施。 3回開催(志木市と共催、生活習慣病予防対策と協同)参加延べ 48名 ○精神保健連絡調整会議において、効果的な自殺予防の取組のため、管内市町の取組について情報交換を実施 ○管内市町の自殺予防関連会議、キャンペーン事業に参加 ○保健所窓口等で啓発リーフレット、相談窓口案内カードの配布	○アルコール問題への効果的な介入のため、市町の生活習慣病予防対策と関連付けた普及啓発を継続して行っていく必要あり ○管内市町においてより効果的な取組が継続して実施されるよう支援する必要あり	○県民向け講座「こころと体の健康とアルコール」開催 志木市・新座市と共催 3回参加者延べ83名 ○精神保健連絡調整会議において、管内市町での取組について情報交換を実施。県内の自殺者の動向を情報提供。 ○管内市町の自殺予防関連会議、キャンペーンに参加 ○保健所窓口等で啓発リーフレット、相談窓口案内カードを配布
その他	上福岡・大井薬剤師会			○市の産業祭での薬物乱用防止活動(11月)
	朝霞市	○事例検討会(9回)	○相談援助技術のスキルアップのため、より効果的な内容の検討(企画)	○事例検討会
	三芳町			○退職前後の男性向けに「うつ予防講座」を開催 ○自殺予防対策庁内連絡会議を開催 ○教員対象に「うつ予防講座」を開催
	朝霞保健所	○精神保健福祉法に基づく警察官等の通報件数97件 そのうち75件で精神保健診察を実施(83%) そのうち51件が措置入院となった(診察したうちの68%)	○措置入院や医療保護入院の退院後の治療継続ができるように支援する必要あり	○通報には適切に対応している。 ○措置入院事例には、措置解除時に全員面会し、支援方針について関係者とともに検討している。 ○退院後は管内市町関係者等と連携し、医療中断の防止などに向けて、継続して支援している。

第6次埼玉県地域保健医療計画 南西部保健医療圏 重点取組 進捗状況(実績)調書(その4)

重点取組	歯科保健対策
目標	歯や口腔の健康状態を保持増進し80歳で20本以上の歯を保有することをスローガンとした8020運動を達成するために、埼玉県歯科口腔保健の推進に関する条例に基づき、歯周疾患とう蝕の予防のため、妊娠期、乳幼児期から高齢期までそれぞれのライフステージを通じた歯科口腔保健を推進します。また、障害をもつ方も質の高い生活を送れるような歯科口腔保健の推進に努めます。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歯科口腔保健に関する知識の普及啓発</li> <li>・ 歯科検診・歯周病健診等の推進</li> <li>・ 地域における歯科保健医療体制の整備および連携強化</li> </ul>
実施主体	市町、歯科医師会、歯科衛生士会、医師会、薬剤師会、教育機関、介護・福祉関係機関、保健所

主な取組	実施主体	28年度		29年度の進捗状況
		取組内容・実績	課題・問題点	
・ 歯科口腔保健に関する知識の普及啓発	朝霞地区 歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各市健康啓発事業、健康まつり、介護予防教室等への協力、参加</li> <li>○小学校でのフッ化物洗口事業の推進(志木市では全小学校で行う。)</li> <li>○学校保健委員会、保健授業、保育園関係者等における講話等による教職員、保護者、児童対象歯科保健啓発事業</li> <li>○8020よい歯のコンクール開催、各市における表彰式への参加</li> <li>○各種リーフレット作成、提供</li> <li>○中学校におけるスポーツ歯科事業</li> </ul>	○フッ化物事業に対する行政、教育委員会の理解度の低さ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各市健康啓発事業、健康まつり、介護予防教室等への協力、参加</li> <li>○小学校でのフッ化物洗口事業の推進(志木市では全小中学校で行う。)</li> <li>○学校保健委員会、保健授業、保育園関係者等における講話等による教職員、保護者、児童対象歯科保健啓発事業</li> <li>○8020よい歯のコンクール開催、各市における表彰式への参加</li> <li>○各種リーフレット作成、提供</li> <li>○中学校におけるスポーツ歯科事業</li> <li>○SNS等を含む各種媒体による情報の発信</li> </ul>
	朝霞市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○マタニティ教室での歯科保健指導(74人)</li> <li>○1歳6か月児健診における歯科保健指導(集団 1,216人、個別 102人)</li> <li>○3歳児健診におけるフッ化物塗布(1,045人)</li> <li>○成人歯科健康診査ブラッシング指導(10回実施 458人)</li> <li>○成人歯科健康教育(2回 40人)</li> <li>○健康まつりに関する歯科保健事業</li> <li>・ 歯科医師会コーナーによる相談</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各種保健指導、健康教育等</li> <li>・ むし歯のない者の割合の増加</li> <li>・ 口腔機能の維持、向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○マタニティ教室での歯科保健指導</li> <li>○1歳6か月児健診における歯科保健指導</li> <li>○3歳児健診におけるフッ化物塗布</li> <li>○成人歯科健康診査ブラッシング指導</li> <li>○成人歯科健康教育</li> <li>○健康まつりに関する歯科保健事業</li> <li>・ 歯科医師会コーナーによる相談</li> </ul>
	志木市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康step up講座(2回 延31人)生活習慣病の予防と健康意識の向上を目的に、運動とミニ講話を組み合わせた講座を実施した。</li> <li>○健康まつり(1回 1100人)「歯の健康啓発コーナー」で、歯科医師による歯科健康講話を実施した。</li> <li>○8020よい歯のコンクール表彰事業健康まつりの開会式で4人の方を表彰した。うち1名の方は、埼玉県でも表彰された。</li> <li>○むし歯予防教室(7回 延90人)市内3か所の子育て支援センターとの共催事業。乳幼児期の健全な食習慣の確立と、むし歯予防を目的に、歯科衛生士・管理栄養士による講話と、個別ブラッシング指導を実施している。</li> <li>○離乳食教室(カミカミ期)(6回延131人)8~9か月児とその保護者を対象に歯のミニ講話を実施した。</li> <li>○パパママ学級(6回 延53人)妊婦を対象に、「ママと産まれてくる子どもの歯を守ろう」をテーマに講話を実施。染めだし後、個別ブラッシング指導を実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○新規と65歳未満の参加者が少ない。</li> <li>○8020よい歯のコンクール表彰事業対象者の募集や高齢であるためコンクール参加への安全配慮が必要である。</li> <li>○むし歯予防教室参加者のニーズを明確化し、行動変容につなげる方法の検討が必要である。</li> <li>○パパママ学級妊娠から子育て期における母子の歯科保健の促進が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康step up講座生活習慣病の予防と健康意識の向上を目的に、運動とミニ講話を組み合わせた講座を実施している。</li> <li>○健康まつり(1回/コーナー参加者のべ174人)「歯の健康啓発コーナー」で、歯科医師・歯科衛生士による歯科健康相談を実施した。また、口腔の細菌数・湯きチェックを実施し、歯科衛生士による歯みがき相談・指導を実施した。歯のクイズ参加者 474人</li> <li>○8020よい歯のコンクール表彰事業健康まつりの開会式で4人の方を表彰した。</li> <li>○むし歯予防教室(7回実施予定)市内3か所の子育て支援センターとの共催事業。乳幼児期の健全な食習慣の確立と、むし歯予防を目的に、歯科衛生士・管理栄養士による講話と、個別ブラッシング指導を実施している。</li> <li>○離乳食教室(カミカミ期)(6回実施予定)8~9か月児とその保護者を対象に歯のミニ講話を実施している。</li> <li>○パパママ学級(6回実施予定)妊婦を対象に、「ママと産まれてくる子どもの歯を守ろう」をテーマに講話を実施。染めだし後、個別ブラッシング指導を実施している。</li> <li>○出前健康講座生活習慣病予防と改善を目的に、専門職が市民団体や町内会等を対象に栄養・運動・口腔ケアに関する実技・健康講話を実施している。</li> </ul>
	和光市	<ul style="list-style-type: none"> <li>【長寿】</li> <li>○介護予防・日常生活支援総合事業として、65歳以上の高齢者を対象に通所型サービス及び訪問型サービスを実施し、その中で、口腔ケア向上の講義を行っている。</li> <li>【小・中学校】</li> <li>○地域学校保健委員会の実施</li> <li>○歯と口のポスターコンクール・歯科保健コンクール・学校歯科保健研究大会への参加・歯と口の健康週間の実施</li> <li>【市内各保育園】歯磨き指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【小・中学校】</li> <li>○外部指導者の確保、日程調整</li> <li>○予算との関連</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【長寿】</li> <li>○H29年度通所型サービス21事業実施予定</li> <li>【小・中学校】・地域学校保健委員会の実施</li> <li>○歯と口のポスターコンクール・歯科保健コンクール・学校歯科保健研究大会への参加・歯と口の健康週間の実施</li> <li>【市内各保育園】</li> <li>○平成28年度の内容を継続して実施</li> <li>○市内保育施設の職員を対象に乳幼児期の口腔歯科に関する専門研修を実施</li> <li>【保健】</li> </ul>

主な取組	実施主体	28年度		29年度の進捗状況
		取組内容・実績	課題・問題点	
・ 歯科口腔保健に関する知識の普及啓発	和光市	<p>【保健】</p> <p>○国保集団・集団健診結果説明会の小グループ指導で「歯周疾患予防」について講義を実施。</p> <p>○歯周疾患検診の受診勧奨案内を前年度40歳、50歳、60歳の市民へ個別通知。</p> <p>○10か月健診時に、ヨチヨチ赤ちゃん歯みがき教室を実施(年12回)。</p> <p>○1歳6か月健診時に、むし歯予防教室を実施(年12回)。</p> <p>○3歳児健診時に、希望者に対しフッ化物塗布を実施(年12回)。</p> <p>○健康フェアにて、お口元気に「はつらつ体操」と「吹き矢」で楽しく健康維持を実施。</p>		<p>○国保集団・集団健診結果説明会の小グループ指導で「歯周疾患予防」について講義を実施。</p> <p>○歯周疾患検診の受診勧奨案内を前年度40歳、50歳、60歳の市民へ個別通知。</p> <p>○10か月健診時に、ヨチヨチ赤ちゃん歯みがき教室を実施(年12回)。</p> <p>○1歳6か月健診時に、むし歯予防教室を実施(年12回)。</p> <p>○3歳児健診時に、希望者に対しフッ化物塗布を実施(年12回)。</p> <p>○健康フェアにて、お口元気に「はつらつ体操」と「吹き矢」で楽しく健康維持を実施。</p>
	新座市	<p>○パパママ学級</p> <p>初回出産予定の方を対象に、保健センターにて、パパママ学級の3回目に、歯科衛生士による妊娠中の歯の衛生について講義を実施している。(実施回数:4回、受講者数:父2人、母42人)</p>	<p>○パパママ学級</p> <p>周知方法としては、広報、母子手帳交付時及び市ホームページへの掲載を実施しているが、受診者数は伸び悩んでいる。</p>	<p>○パパママ学級</p> <p>初回出産予定の方を対象に、保健センターにて、パパママ学級の3回目に、歯科衛生士による妊娠中の歯の衛生について講義を実施している。(実施回数:年間4回、受講者数:父7人、母38人)8月末現在</p>
		<p>○高齢者いきいき広場健康教室</p> <p>60歳以上の方を対象に、市内5か所各高齢者いきいき広場にて、年2回歯科衛生士による歯・口・飲み込み等について講話を実施している。(実施回数:延10回)</p>	<p>○高齢者いきいき広場健康教室</p> <p>周知方法としては、健康カレンダー、各広場へチラシの配布、市ホームページへの掲載を実施している。年々、参加者は増加傾向にあるが、各広場によって、ばらつきがある。</p>	<p>○高齢者いきいき広場健康教室</p> <p>60歳以上の方を対象に、市内5か所各高齢者いきいき広場にて、年2回歯科衛生士による歯・口・飲み込み等について講話を実施している。(実施回数:11月末現在 7回)</p>
		<p>○「新座市歯科口腔保健の推進に関する条例」の制定(平成25年4月1日施行)</p> <p>歯科口腔保健の推進に関する法律に基づき、歯と口腔の健康づくりに関する施策を総合的かつ計画的に推進し、市民の生涯にわたる健康の保持及び増進に寄与するための基本理念及び基本的事項を定めることを目的として制定した。</p> <p>平成25年度から、成人歯科検診の無料化を継続中。</p> <p>○健康まつり歯科コーナーにおいて歯科医師の健診、相談、歯科衛生士による指導、相談及び掲示などを実施。</p>		<p>○広報・チラシ等で、成人歯科検診の周知を行っている。</p>
		<p>○特定保健指導の歯科講演会</p> <p>特定保健指導参加者を対象に、お口の健康とメタボリックシンドロームについて歯科医と歯科衛生士による講演会を実施した。</p>	<p>○特定保健指導の歯科講演会</p> <p>歯の手入れについての実技もあり、好評である。</p>	<p>○特定保健指導の歯科講演会</p> <p>対象を国民健康保険加入の40歳以上の方に広げ、引き続き実施予定。</p>
		<p>○歯と口の健康週間</p> <p>保健センター及び市内各小中学校において、健診・相談・ポスター作成・かむかむ給食等の取組を実施した。</p>	<p>○歯と口の健康週間</p> <p>市民への周知について、今後は広報等でPRをし更なる歯科口腔保健の推進に繋がっていきたいと考える。</p>	<p>○歯と口の健康週間</p> <p>保健センター及び市内各小中学校において、健診・相談・ポスター作成・かむかむ給食等の取組を実施した。</p>
		<p>○歯と口の健康フェア</p> <p>歯科健診 フッ素塗布 フッ素洗口 歯科相談 口臭チェック ブラッシング指導</p> <p>平成27年度開室したピアザ☆ふじみを会場に開催。</p> <p>○8020・親子よい歯のコンクール</p> <p>○健康まつり</p> <p>歯科コーナーで歯科医師による健診・歯科衛生士による保健指導等を実施している。</p>		<p>○歯と口の健康フェア</p> <p>歯科健診 フッ化物塗布 フッ化物洗口 歯科相談 口臭チェック ブラッシング指導 口腔がん検診</p> <p>○8020・親子よい歯のコンクール</p> <p>○健康まつり</p> <p>歯科コーナーで歯科医師、歯科衛生士による歯の健康相談、RDテスト等を実施している。</p>
	富士見市(歯科医師会)	<p>○特定保健指導・生活習慣病予防教室等の中で、歯周病予防講座を実施</p> <p>○介護予防教室の中で、歯科検診や歯科についての講話・個別指導を実施</p>		<p>○特定保健指導・生活習慣病予防教室等の中で、歯周病予防講座を実施</p> <p>○介護予防教室の中で、歯科検診や歯科についての講話・個別指導を実施</p>

主な取組	実施主体	28年度		29年度の進捗状況
		取組内容・実績	課題・問題点	
・ 歯科口腔保健に関する知識の普及啓発	ふじみ野市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○歯の健康フェアの開催:延べ人数722人</li> <li>○歯と口の健康づくり講演会 保健推進員と市民62人</li> <li>○市報、ホームページで歯科口腔保健の周知</li> <li>○妊娠届出時にお口の母子手帳を配付892人</li> <li>○個別成人歯科健診の一部対象年齢者(40・60歳)に歯科口腔保健に関するパンフレットの送付(無料歯科健診の御案内に同封)</li> <li>○筋力アップ事業の中で歯科衛生士による歯科口腔保健講座を実施 65人</li> <li>○糖尿病予防教室にて歯科口腔保健講座を実施 28人</li> <li>○糖尿病自主グループで口腔ケア講座を実施 8人</li> <li>○10か月児相談にて歯科衛生士による歯みがき指導988人</li> <li>○地域健康教育 歯科衛生士による歯科口腔保健の講座 8地区 204人</li> <li>○保育所での歯科健康教育 5歳児25名</li> <li>○歯科衛生士による個別歯科健康相談 延べ人数36人</li> <li>【高齢福祉課】</li> <li>○介護予防教室で口腔機能向上プログラムを実施29人</li> <li>○高齢者を対象に基本チェックリストを送付</li> </ul>	○歯科口腔保健に関する知識の普及	<ul style="list-style-type: none"> <li>○歯の健康フェアの開催</li> <li>○歯と口の健康づくり講演会 47人</li> <li>○市報、ホームページで歯科口腔保健の周知</li> <li>○個別成人歯科健診の一部対象年齢者(40・60歳)に歯科口腔保健に関するパンフレットの送付(無料歯科健診の御案内に同封)</li> <li>○筋力アップ事業の中で歯科衛生士による歯科口腔保健講座を実施 161人</li> <li>○10か月児相談にて歯科衛生士による歯みがき指導</li> <li>○地域健康教育 歯科衛生士による歯科口腔保健の講座 1地区 50人</li> <li>○保育所での歯科健康教育 (5歳児)17人</li> <li>○歯科衛生士による個別歯科健康相談</li> <li>【高齢福祉課】</li> <li>○介護予防教室を開催</li> <li>○70・75・80・85歳を対象に基本チェックリストを送付。</li> </ul>
	三芳町	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1歳6ヶ月、2歳児、3歳児健診時にブラッシング指導及び個別相談の実施</li> <li>○保育所歯科ブラッシング 公立保育所2ヶ所、民間保育所3ヶ所の3～5歳児童を対象に保健師によるブラッシング指導を実施</li> <li>○介護予防教室 65歳以上の高齢者を対象にした、口腔ケアやブラッシングに関する教室を実施</li> </ul>	○介護予防教室 新規の参加者が少なく、リピーターが多い	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1歳6ヶ月、2歳児、3歳児健診時にブラッシング指導及び個別相談の実施</li> <li>○保育所歯科ブラッシング 公立保育所2ヶ所、民間保育所3ヶ所の3～5歳児童を対象に保健師・歯科衛生士によるブラッシング指導を実施</li> <li>○介護予防教室 65歳以上の高齢者を対象にした、口腔ケアやブラッシング指導に関する教室を実施 (3回延べ70人)</li> </ul>
	朝霞保健所	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各市町における歯科口腔保健事業を推進していくための根拠となる歯科口腔保健条例策定会議等に参画</li> <li>○食育推進研修会や国民健康・栄養調査時等に歯科口腔保健に関する知識を普及</li> </ul>	○普及啓発する機会が少ない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各市町における歯科口腔保健事業を推進していくための根拠となる歯科口腔保健条例策定会議等に参画、管内歯科口腔保健の状況を把握</li> <li>○国民健康・栄養調査時等に歯科口腔保健に関する知識の普及</li> </ul>
・ 歯科検診・歯周病健診等の推進	朝霞地区歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○乳幼児歯科検診、成人歯科検診、親子歯科検診等における検診、指導、フッ化物塗布事業への協力</li> <li>○障がい者施設での歯科検診、指導</li> <li>○高齢者施設での歯科検診、指導</li> <li>○歯科保健啓発、検診ツールの開発、普及(生活歯援プログラム等)</li> <li>○精神障がい者施設における歯科検診事業を通じた歯科診療支援、禁煙指導</li> </ul>	○不登校、虐待、高齢者、障害者(在宅者含む)等に対するよりきめ細かい対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>○乳幼児歯科検診、成人歯科検診、親子歯科検診等における検診、指導、フッ化物塗布事業への協力</li> <li>○障がい者施設での歯科検診、指導</li> <li>○高齢者施設での歯科検診、指導</li> <li>○歯科保健啓発、検診ツールの開発、普及(生活歯援プログラム等)</li> <li>○精神障がい者施設における歯科検診事業を通じた歯科診療支援、禁煙指導 ○入院患者、在宅療養者の検診指導 ○健康保険組合との連携による検診事業の推進</li> </ul>
	朝霞市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○マタニティ教室での歯科健康教育(74人)</li> <li>○1歳6か月児健診における歯科健康診査(1,322人)</li> <li>○3歳児健診における歯科健康診査(1,263人)</li> <li>○親子歯科健診(親子 306人、子のみ 21人)</li> <li>○成人歯科健診(464人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各種歯科健康診査</li> <li>・歯科健康診査受診者の増加</li> <li>・むし歯のない者の割合の増加</li> <li>・口腔機能の維持、向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○マタニティ教室における歯科健康教育</li> <li>○1歳6か月児健診における歯科健康診査</li> <li>○3歳児健診における歯科健康診査</li> <li>○親子歯科健診</li> <li>○成人歯科健診</li> </ul>
	志木市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1歳6か月児歯科健診(677人) 1歳6か月児健診と同時に年12回実施。歯科健診後、歯科衛生士による保健指導と個別ブラッシングを実施している。</li> <li>○3歳児歯科健診(694人) 3歳児健診と同時に年12回実施。歯科健診後、フッ化物塗布、歯科衛生士による保健指導を実施している。</li> <li>○5歳児親子いっしょに歯科検診(176組) 年度中に5歳となる子どもとその保護者を対象に、朝霞地区歯科医師会加入の医療機関で実施している。検診は無料。平成28年8月から平成29年2月までの7か月間実施している。</li> <li>○成人期歯科検診(75人) 満50歳の方を対象に歯科検診を朝霞地区歯科医師会加入の医療機関で実施。平成28年8月から平成29年2月までの7か月間実施している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1歳6か月児歯科健診 受診児数の増加に伴い、個別指導の円滑な実施方法の検討が必要である。</li> <li>○3歳児歯科健診 多数う蝕のある児に対し個別指導をおこなっても、継続的な治療につながりにくい。</li> <li>○5歳児親子いっしょに歯科検診 受診率は27.2%と低い。受診した保護者の多くは、経過観察や治療を要しているため、今後も受診率向上をめざし、周知に努めて行く。</li> <li>○成人期歯科検診 受診率は7.1%と低い。受診した人の多くは、経過観察や治療を要しているため、今後も受診率向上をめざし、周知に努めて行く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1歳6か月児歯科健診 1歳6か月児健診と同時に12回実施。歯科健診後、歯科衛生士による保健指導と個別ブラッシングを実施している。</li> <li>○3歳児歯科健診 3歳児健診と同時に12回実施。歯科健診後、フッ化物塗布、歯科衛生士による保健指導を実施している。</li> <li>○5歳児親子いっしょに歯科検診 年度中に5歳となる子どもとその保護者を対象に、朝霞地区歯科医師会加入の医療機関で実施している。検診は無料。</li> <li>○成人期歯科検診 満50歳の方を対象に歯科検診を朝霞地区歯科医師会加入の医療機関で実施。</li> </ul>

主な取組	実施主体	28年度		29年度の進捗状況
		取組内容・実績	課題・問題点	
・ 歯科検診・ 歯周病健診等 の推進	和光市	<p>【市教委及び小・中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○検診実施済み</li> <li>○治療勧告等対応済</li> </ul> <p>【市内各保育園】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○歯科検診(年1回以上)</li> </ul> <p>【保健】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○歯周疾患検診の実施(80人)</li> </ul> <p>【社会援護課】</p> <p>市内の通所施設などで年に数回歯科検診や歯磨き指導を行っている。</p>	<p>【市教委及び小・中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○歯科治療率の向上、歯科口腔保健に対する意識啓発</li> </ul> <p>【社会援護課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○通所者のみのサービスとなっている。</li> </ul>	<p>【市教委及び小・中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○検診実施済み</li> <li>○治療勧告等対応済</li> </ul> <p>【市内各保育園】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○平成28年度の内容を継続して実施</li> </ul> <p>【保健】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○継続して歯周疾患検診を実施。</li> </ul> <p>【社会援護課】</p> <p>平成28年度同様。施設等で、利用者を対象とした検診などを実施している。</p>
	新座市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○乳幼児相談</li> </ul> <p>毎月1回、3～4か月児健康診査後から就学前の乳幼児を対象に、保健師、栄養士、歯科衛生士による体格測定及び、健康・栄養・育児等に関する相談を実施した(歯科相談のみ予約制) (相談者総数 830名、歯科相談者数 60名)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○乳幼児相談</li> </ul> <p>市内の子育て支援センターでも体格測定は行われているが、歯科衛生士の相談はないので毎回好評である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○乳幼児相談</li> </ul> <p>前年同様に実施している</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○1歳6か月児健康診査</li> </ul> <p>1歳6か月児健診時に、歯科健診とブラッシング指導を実施した。 (受診者数:1,387人)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1歳6か月児健康診査</li> </ul> <p>受診者数が多いため、スムーズに健診を行えるよう配慮が必要。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1歳6か月児健康診査</li> </ul> <p>1歳6か月児健診時に、歯科健診を実施している。3歳児健診で齲歯が増加するため、齲歯の予防や2歳児歯科健診の勧めなどを、リーフレットで周知している。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○2歳児歯科健康診査</li> </ul> <p>2歳児を対象に、歯科健診と希望する児にはフッ化物塗布を実施した。 (受診者数:395人、フッ化物塗布実施者数:386人)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○2歳児歯科健康診査</li> </ul> <p>周知方法としては、広報、健康カレンダーの全戸配布、市ホームページへの掲載および1歳6か月児健診でのリーフレット配布を実施しているが、受診者数は伸び悩んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○2歳児歯科健康診査</li> </ul> <p>2歳児を対象に、歯科健診と希望する児にはフッ化物塗布を実施している。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○3歳児健康診査</li> </ul> <p>3歳児健診時に、歯科健診とフッ化物塗布(希望者のみ)を実施した。 (歯科健診受診者数:1,446人、フッ化物塗布実施者数:1,302人)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○3歳児健康診査</li> </ul> <p>受診者数が多いため、スムーズに健診・フッ化物塗布を行えるように配慮が必要。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○3歳児健康診査</li> </ul> <p>3歳児健診時に、歯科健診とフッ化物塗布(希望者のみ)を実施している。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○親子歯科</li> </ul> <p>5歳児とその保護者を対象に、朝霞地区歯科医師会加入の協力歯科医院において、歯科健診を実施し、希望する児にはフッ化物塗布も実施した。(受診者数:児322人、保護者294人)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○親子歯科健康診査</li> </ul> <p>受診しやすいように協力歯科医院を、朝霞市、志木市、和光市に拡大し、フッ化物塗布を無料にした。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○親子歯科健康診査</li> </ul> <p>5歳児とその保護者を対象に、朝霞地区歯科医師会加入の協力歯科医院において、歯科健診を実施し、希望する児にはフッ化物塗布も実施した。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校健診</li> </ul> <p>市内各小中学校において、歯科健診を実施した。 (小学校:17校、中学校:6校)</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校健診</li> </ul> <p>前年度同様に実施。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○成人歯科検診</li> </ul> <p>集団検診は18歳以上、個別検診は40歳以上の節目年齢の方を対象に、歯科検診と歯みがき指導を実施した。平成26年度までは集団検診の対象者を18歳から39歳までの方としていたが、平成27年度から18歳以上の方を対象者を拡大した。実施方法は保健センター等を会場とした集団検診と、朝霞地区歯科医師会加入の協力歯科医院において実施する個別検診の2種類を設けた。 (受診者数:351人)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○成人歯科検診</li> </ul> <p>広報への掲載やチラシの配布等で周知を図っているが、受診者数が伸び悩んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○成人歯科検診</li> </ul> <p>集団検診は18歳以上、個別検診は40歳以上の節目年齢の方を対象に、歯科検診と歯みがき指導を実施した。実施方法は保健センター等を会場とした集団検診と、朝霞地区歯科医師会加入の協力歯科医院において実施する個別検診の2種類を設けた。協力医療機関は、昨年度と同様である。 成人歯科検診の受診率向上の為、65歳以上の肺炎球菌予防接種の御案内に、成人歯科検診のチラシを同封し周知を図っている。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康まつりにおける歯科相談コーナー</li> </ul> <p>健康まつり来場者を対象に、歯科医師・歯科衛生士による歯科健診及び相談を実施した。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康まつりにおける歯科相談コーナー</li> </ul> <p>歯科相談コーナーを目的に来場する方もいる。位相差顕微鏡なども使い、説明も工夫しているが、常に混んでおり相談コーナーだけにするなどの工夫が必要。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康まつりにおける歯科相談コーナー</li> </ul> <p>健康まつり来場者を対象に、歯科医師・歯科衛生士による歯科健診及び相談を実施した。 (歯科相談コーナー来場者数:238人)</p>	
	富士見市	<ul style="list-style-type: none"> <li>○成人歯科健診</li> </ul> <p>市内歯科医療機関で6月から翌年2月までの期間、妊産婦及び30歳以上の市民を対象に実施 30歳以上 自己負担500円 262件 妊産婦 自己負担なし 98件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○12か月児健康診査</li> </ul> <p>12か月児健康診査(年16回)時に、歯科衛生士による口腔ケア講座を実施:948人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○1歳6か月児健康診査</li> </ul> <p>1歳6か月児健康診査(年16回)時に、歯科健診とブラッシング指導を実施:923人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○3歳児健康診査</li> </ul> <p>3歳児健康診査(年12回)時に、歯科健診とブラッシング指導を実施:988人 フッ化物塗布実施数:714人</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○成人歯科健診</li> </ul> <p>受診者数が少ない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○1歳6か月児健康診査</li> </ul> <p>県平均に比べ、1人あたり虫歯保有数、むし歯のある児ともに多い傾向にある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○歯科単独の講座では、参加者が少ないため、他の事業と併せて実施しなければならない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○成人歯科健診</li> </ul> <p>市内歯科医療機関で6月から翌年2月までの期間、20歳以上の市民(今年度から対象年齢を引き下げ)と妊娠中及び産後1年未満の市民を対象に実施。 自己負担500円。妊産婦は無料。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○12か月児健康診査</li> </ul> <p>12か月児健康診査(年16回)時に、歯科衛生士による口腔ケア講座を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○1歳6か月児健康診査</li> </ul> <p>1歳6か月児健康診査(年16回)時に、歯科健診とブラッシング指導を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○3歳児健康診査</li> </ul> <p>3歳児健康診査(年12回)時に、歯科健診とブラッシング指導、希望者へのフッ化物塗布を実施</p>

主な取組	実施主体	28年度		29年度の進捗状況
		取組内容・実績	課題・問題点	
・ 歯科検診・ 歯周病健診等 の推進	ふじみ野市	○成人歯科健診の実施(292人) 実施期間:H28. 7. 1~H28. 12. 28 要精密検査、要治療になった人への電話によるフォローを実施 対象者:18歳以上(対象外要件あり) 妊婦歯科健康診査(107人) 実施期間H28. 4. 1~H29. 3. 31 対象者:母子健康手帳の交付を受けている妊婦(対象外要件あり) ○1歳6か月歯科健診(1, 019人) ○3歳児歯科健診(1, 043人)	○成人歯科健診・妊婦歯科健診の周知を図っているが受診者が伸び悩んでいる。受診者を拡大するため周知方法の工夫や歯科衛生士が行う講座内で、歯科健診を予防目的で受けることの大切さをレクチャーしている。	○成人歯科健診の実施 実施期間:H29. 7. 1~H29. 12. 28 対象者:18歳以上(対象外要件あり) 過去に受診したことのある人受診勧奨のはがきを送付した。 妊婦歯科健康診査 実施期間H29. 4. 1~H30. 3. 31 対象者:母子健康手帳の交付を受けている妊婦(対象外要件あり) ○1歳6か月児歯科健診 ○3歳児歯科健診
	三芳町	○歯周疾患予防検診 町内歯科医療機関で7月から12月までの期間、20歳以上の町民を対象に実施 費用無料 28年度 61件 ○1歳6ヶ月健診(1歳6~7ヶ月) 1歳6ヶ月児を対象に歯科健診とブラッシング指導を実施 290人 ○2歳児歯科健診(2歳6~7ヶ月) 2歳児を対象に歯科健診とフッ化物塗布(希望者のみ)を実施 229人 ○3歳児健康診査 3歳児健康診査(年12回)時に、歯科健診とブラッシング指導を実施 260人	○予防が可能な世代及び新規の対象者の受診を促すべく、妊婦に対しても妊娠届のグッズに周知チラシ等を入れ、受診者の増加を図っていく ○歯周疾患予防検診 受診者数が少ない	○平成28年度と同様の内容とする
	朝霞保健所	○各市町における歯科口腔保健条例策定会議等に参加 ○管内市町の歯科口腔保健事業の実施状況を把握、管内歯科保健関係者及び市町担当者との情報を共有した。	○働きざかり世代へのアプローチ	○各市町における歯科口腔保健条例策定会議等に参加 ○管内市町の歯科口腔保健事業の実施状況を把握、管内歯科保健関係者及び市町担当者との情報を共有
・ 地域における 歯科保健医療 体制の整備 および連携強化	朝霞地区 歯科医師会	○各市保健会議への参加 ○障がい者施設検診事業を通じた専門診療所、地域施設との連携強化 ○医療、介護等多職種との連携強化 ○朝霞地区在宅歯科医療推進窓口の運営 ○新座市保険センター内に朝霞地区在宅歯科医療地域推進拠点の開設と運営 ○地域における多職種連携勉強会、会議、会合の運営と参加 ○地域拠点主催の他職種向け研修会の開催 ○入院患者の口腔アセスメント実施による医科との連携	○朝霞地区在宅歯科医療推進窓口の周知 ○人材の確保育成	○各市保健会議への参加 ○障がい者施設検診事業を通じた専門診療所、地域施設との連携強化 ○医療、介護等多職種との連携強化 ○朝霞地区在宅歯科医療推進窓口の運営 ○新座市保険センター内に朝霞地区在宅歯科医療地域推進拠点の開設と運営 ○地域における多職種連携勉強会、会議、会合の運営と参加 ○地域拠点主催の他職種向け研修会の開催 ○入院患者、在宅療養者の口腔アセスメント実施による医科との連携
	朝霞市	○歯科保健事業担当者会議(1回開催)	○歯科保健事業担当者会議 関係機関との連携により、地域における歯科保健医療体制の整備を図る。	○歯科保健事業担当者会議(1回開催予定)
	和光市	【長寿】 ○介護予防・日常生活支援総合事業として、摂食・咀嚼機能等の低下またはそのおそれのある高齢者や口腔衛生状態の不良を改善する必要がある高齢者に対し、誤嚥性肺炎や口腔疾患等の予防および機能向上を図るための指導等を行う。 歯科診療所の歯科看護師、歯科衛生士に単価委託契約。H26年度実績 実人数5人。 【社会援護課】 ○障害の状況に応じて、あさか向陽園の障害者歯科診療を紹介している。通院介助などの利用も提案し、通院しやすいよう支援している。	【長寿】 ○初回訪問時のアセスメントにより、「指導」ではなく「治療」が必要な状態の方が多く、歯科治療終了後の導入となるため、初回介入から導入までの期間が長い。 【社会援護課】 ○地域の歯科医院を受診できそうな障がい者でも、障害者歯科受診を希望している。	【長寿】 ○H29年11月末時点 実人数1人。 【市教委及び小・中学校】 ○朝霞保健所歯科口腔保健連携会議へ参加 ○朝霞地区学校保健会との連携協力 【社会援護課】 ○28年度と同様、紹介及び通院しやすいように支援している。
	新座市	○朝霞地区障がい者等歯科保健医療システム 朝霞地区歯科医師会と連携し、在宅歯科医療推進窓口へ高齢者、障がい者の受診相談をつなげている。また向陽園(障がい者歯科診療所)の情報を提供している。		○朝霞地区障がい者等歯科保健医療システム 障がいのある方が、歯科医療や予防処置・相談が受けられるよう「朝霞地区協力歯科医」が歯科保健相談に応じて、可能な限り通常の歯科治療、予防処置及び訪問診療(応急処置等)を行っているため、必要な場合に、連絡調整を行っている。
	富士見市	○富士見市歯科口腔保健推進委員会を実施(年2回) ○要介護者・障がい者(児)に向けて、歯科医療機関のリーフレットを作成		○富士見市歯科口腔保健推進委員会を実施(年2回) ○要介護者・障がい者(児)に向けて、歯科医療機関のリーフレットを市内公共施設・高齢者安心相談センター等に設置
	ふじみ野市	○市歯科医師会との保健事業調整会議 ○訪問歯科医療機関の周知をチラシとホームページにて実施。		○新規で開設した東入間在宅歯科医療支援窓口(H29. 4)の周知をチラシとホームページにて実施(市歯科医師会と連携) ○成人歯科健診の受診者拡大のため歯科医師会へ市民がかかりつけを持つ割合や受診率、現在の取組みを報告した ○市内小中学校へ、市内の各学校で年度別、学校別で比較したむし歯有病率、むし歯治療率等を公開し資料提供を行った。

主な取組	実施主体	28年度		29年度の進捗状況
		取組内容・実績	課題・問題点	
・ 地域における歯科保健医療体制の整備および連携強化	三芳町	○三芳町健康づくり推進条例により、健康づくり住民会議を実施(4回開催)		○三芳町健康づくり推進条例により、健康づくり住民会議を実施予定(1回開催)
	朝霞保健所	○管内市町保健・高齢福祉・障害福祉担当者、歯科医師、歯科衛生士、高齢者施設職員を対象に「埼玉県の歯科口腔保健推進計画(第2次)」「地域包括ケアシステム」をテーマに歯科口腔保健推進会議を実施(1回39人)	○全ライフステージを通じた連携強化が困難 ○各ライフステージにおける歯科保健関係者の連携強化	○管内市町保健担当者、歯科医師、歯科衛生士、大学保健センター、企業、商工会職員を対象に「成人歯科保健について」「歯科保健からの禁煙支援」をテーマに歯科口腔保健推進会議を実施(1回33人)
その他	朝霞市	○ 8020よい歯のコンクール 市内在住の80歳以上の者で、自身の歯が20本以上ある健康な者を募集し、朝霞地区歯科医師会において選考会を開催。入賞者については、市の健康まつりにおいて表彰を実施。		○ 8020よい歯のコンクール 市内在住の80歳以上の者で、自身の歯が20本以上ある健康な者を募集し、朝霞地区歯科医師会において選考会を開催。入賞者については、市の健康まつりにおいて表彰を実施予定。
	和光市	○和光市8020よい歯のコンクール表彰式2名		○各種歯科保健調査の実施 ○和光市8020よい歯のコンクール表彰式4名
	新座市	○ 新座市休日歯科応急診療所 国民の休日に関する法律に規定する休日における市民の応急診療を確保するため、朝霞地区歯科医師会の協力により、救急医療の一環として運営した。(診療日数:18日、受診者数:91人) 休日歯科応急診療所条例を改正し、平成28年度から診療日が縮小となった(日曜日の診療を廃止)。	○ 新座市休日歯科応急診療所 年末年始等の大型連休に患者が集中する傾向となっている。	○ 新座市休日歯科応急診療所 国民の休日に関する法律に規定する休日における市民の応急診療を確保するため、朝霞地区歯科医師会の協力により、救急医療の一環として運営している。
		○ 8020よい歯のコンクール 市内在住の80歳以上の者で、自身の歯が20本以上ある健康な者を募集し、朝霞地区医師会において選考会を開催。入賞者については、市の健康まつりにおいて表彰を実施。		○ 8020よい歯のコンクール 市内在住の80歳以上の者で、自身の歯が20本以上ある健康な者を募集し、朝霞地区医師会において選考会を開催。入賞者については、市の健康まつりにおいて表彰を実施した。
		○ 6525運動 健康まつりの歯科相談コーナー来所者のうち、65歳以上で自身の歯が25本以上ある者に表彰状を贈呈した。また、同コーナー来所者全てに8020・6525運動に関するチラシを配布し、周知を図った。 (6525達成者:13人)		○ 6525運動 健康まつりの歯科相談コーナー来所者のうち、65歳以上で自身の歯が25本以上ある者に表彰状を贈呈した。また、同コーナーに8020・6525運動について記載されたパンフレットを設置し、周知を図った。 (6525達成者:10人)
ふじみ野市	○健康づくり計画(歯科口腔保健計画含む)策定にむけての調査期間 市民向けアンケートを実施した。乳幼児児童600人、中高生400人、成人2000人		○健康づくり計画(歯科口腔保健計画含む)策定中	



第6次埼玉県地域保健医療計画 南西部保健医療圏 重点取組 進捗状況(実績)調書(その5)

重点取組	健康危機管理体制の整備充実
目標	健康危機発生に備え、平常時から医療機関・検査機関・消防・警察・市など関係機関等と連携体制を強化するとともに、健康危機発生予防の普及啓発に努めます。また、健康危機発生時には、迅速かつ的確な情報収集、分析及び情報提供体制の充実を図ります。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康危機管理関係機関の連携体制の構築</li> <li>自主管理体制整備の推進</li> <li>健康危機管理情報の収集、分析及び提供体制の充実</li> </ul>
実施主体	医師会、歯科医師会、薬剤師会、警察署、消防署、市町、保健所

主な取組	実施主体	28年度		29年度の進捗状況
		取組内容・実績	課題・問題点	
健康危機管理関係機関の連携体制の構築	朝霞地区医師会(保健所)	<ul style="list-style-type: none"> <li>4市と医師会、歯科医師会、薬剤師会と災害時協定を締結し、災害時の迅速な救護体制の構築</li> <li>各市の新型インフルエンザ対策マニュアルに対する医師会要望案を作成</li> <li>衛星電話の他MCA無線による通信手段の導入を検討</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>4市と医師会、歯科医師会、薬剤師会と災害時協定を締結し、災害時の迅速な救護体制の構築</li> <li>新型インフルエンザワクチン特定接種(案)の作成</li> <li>衛星電話、メールによる連絡、情報提供体制の構築</li> <li>衛星電話の新規種へ変更及び通信訓練の実施</li> </ul>
	朝霞地区歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>防災訓練への参加、災害発生時の対応の確認、訓練</li> <li>4市と医師会、歯科医師会、薬剤師会と災害時協定を締結し、災害時の迅速な救護体制の構築</li> <li>ホームページ、緊急用ネット配信システムによる感染症情報の提供体制の構築</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>防災訓練への参加、災害発生時の対応の確認、訓練</li> <li>4市と医師会、歯科医師会、薬剤師会と災害時協定を締結し、災害時の迅速な救護体制の構築</li> <li>ホームページ、緊急用ネット配信システムによる感染症情報の提供体制の構築</li> </ul>
	朝霞市	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型インフルエンザ等に関して</li> <li>平成28年度埼玉県新型インフルエンザ等対策訓練を実施(H28.12.13)</li> <li>新型インフルエンザ等対策委員会の実施(H28.12.20)</li> <li>新型インフルエンザ等対策業務継続計画の策定(H28.12)</li> <li>特定接種の接種体制に関する覚書を朝霞台中央総合病院と締結(H29.1.17)</li> </ul>	各部署において、担当職員が変更することもあるため、定期的に確認できる場を設けることで、共通認識の継続を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型インフルエンザ等に関して</li> <li>平成29年度埼玉県新型インフルエンザ等対策訓練を実施(H29.11.7、11.10)</li> <li>新型インフルエンザ等対策委員会の実施(H29.11.10)</li> <li>新型インフルエンザ等対策業務継続計画の改定(H29.11)</li> </ul>
	志木市(朝霞地区4市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>埼玉県新型インフルエンザ等対策訓練に参加(12月13日、連絡訓練のみ)</li> <li>川口保健所において健康危機管理訓練実施(12月2日)</li> </ul>		埼玉県新型インフルエンザ等対策訓練に参加(11月7日、連絡訓練のみ)
	新座市(朝霞地区4市)	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型インフルエンザ等対策訓練を実施(H28.12.13)(連絡訓練のみ)</li> </ul>		新型インフルエンザ等対策訓練を予定(H29.11.7)(連絡訓練のみ)
	ふじみ野市	<ul style="list-style-type: none"> <li>埼玉県新型インフルエンザ等対策訓練に参加(12月13日、連絡訓練のみ)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>埼玉県新型インフルエンザ等対策訓練に参加(11月7日、連絡訓練のみ)</li> <li>ふじみ野市業務継続計画(BCP)【新型インフルエンザ等編】の策定</li> </ul>
自主管理体制整備の推進	朝霞地区医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページ活用連絡網の整備及び訓練の実施を検討</li> <li>各医療機関へのAED設置の促進及び更新の実施により心肺停止者の救命体制の促進を行う。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページ活用連絡網の整備及び訓練の実施を検討</li> <li>各医療機関へのAED設置の促進及び更新の実施により心肺停止者の救命体制の促進を行う。</li> <li>水銀使用医療機器の集中的回収業務</li> <li>災害医療講演会の開催(地震災害における医療受援対策)</li> </ul>
	朝霞地区歯科医師会	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害発生時の体制整備、安否確認訓練の実施</li> <li>災害時における医療救護活動に関する協定の締結</li> <li>歯科医師会員のメールによる安否確認システムの整備</li> <li>災害時緊急連絡の整備</li> </ul>	システムの徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害発生時の体制整備、安否確認訓練の実施</li> <li>災害時における医療救護活動に関する協定の締結</li> <li>歯科医師会員のメールによる安否確認システムの整備</li> <li>災害時緊急連絡の整備</li> </ul>
	埼玉病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年度に取得したISO22301(BCMS)における事業継続計画書(BCP)を作成し災害時等における事業継続への取り組みを行った。</li> </ul>	災害マニュアルとBCMSマニュアル等の整合性や課題の修正を行う必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年10月にBCMSの継続審査を受審した。</li> <li>災害対策委員会を中心に年1回(6月)に災害訓練を実施し、各職場においてアクションカードを作成して、実践に即した対応について検討を進めている。</li> </ul>
	志木市	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度第2回新型インフルエンザ等感染症対策研修会への出席(12月8日)</li> <li>志木市新型インフルエンザ(強毒性)等流行時の業務継続計画の作成中</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>行動計画の内容、新型インフルエンザ対策マニュアルの実践化のため、県が作成する予定の対策マニュアルを参照の上、業務継続に向けた関係機関、実施業務内容、周辺環境等の洗い出し、分析を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>志木市新型インフルエンザ(強毒性)等流行時の業務継続計画の作成中</li> <li>朝霞保健所管内感染症対策会議への出席(10月19日)</li> </ul>

主な取組	実施主体	28年度		29年度の進捗状況
		取組内容・実績	課題・問題点	
・ 自主管理体制整備の推進	和光市			○新型コロナウイルス業務継続計画の策定中
	新座市			○所内災害時緊急連絡網の整備
・ 健康危機管理情報の収集、分析及び提供体制の充実	朝霞地区医師会	○ホームページの活用、メーリングリスト等による緊急時における情報提供、連絡体制について、感染症予防対策協議会、情報広報委員会を検討を行っている。		○ホームページの活用、メーリングリスト等による緊急時における情報提供、連絡体制について、検討を行っている。 ○災害発生時(初動)調査の実施 (自宅と医療機関までの所要時間、災害発生時の対応等)
	朝霞地区歯科医師会	○災害時の身元確認研修会の実施 ○災害時の口腔ケア研修会(会員向け、他職種一般向け) ○災害時の口腔ケア普及 ○朝霞消防署による歯科医師衛生士向け研修会の実施 ○災害時の身元確認研修会の実施 ○HIV等の感染症対策、診療、診療トラブルに対するバックアップ体制の構築。研修会の実施。		○災害時の身元確認研修会の実施 ○災害時の口腔ケア研修会(会員向け、他職種一般向け) ○災害時の口腔ケア普及 ○朝霞消防署による歯科医師衛生士向け研修会の実施 ○災害時の身元確認研修会の実施 ○HIV等の感染症対策、診療、診療トラブルに対するバックアップ体制の構築。研修会の実施。
	朝霞市	○感染症の予防啓発 ・インフルエンザや感染症予防について、市民への啓発運動を実施 ・必要物品、消耗品の準備 ○熱中症への予防啓発 ・熱中症について、市民への啓発活動を実施 ○蚊媒介感染症対策 ・蚊媒介感染症について、市民への啓発活動及び関係部局との調整を実施 ・埼玉県が実施した定点モニタリングへの協力	○市民に対して適切に情報提供を行う。 ○必要物品等の予算確保	○感染症の予防啓発 ・インフルエンザや感染症予防について、市民への啓発運動を実施 ・必要物品、消耗品の準備 ○熱中症への予防啓発 ・熱中症について、市民への啓発活動を実施 ○蚊媒介感染症対策 ・蚊媒介感染症について、市民への啓発活動及び関係部局との調整を実施
	志木市	○インフルエンザや感染症に関する情報を随時、ホームページや広報へ掲載している。	○市民にタイムリーな正しい健康情報を提供していく。	○平成29年度も継続して情報提供は続けている。
	和光市	○インフルエンザや感染症に関する情報を随時、ホームページや広報へ掲載している。	○市民にタイムリーな正しい健康情報を提供していく。	○29年度も継続して実施している。
	新座市	○インフルエンザや感染症等に関する情報を、随時ホームページや広報誌へ掲載している。	○市民に向けてタイムリーに情報を提供することが必要である。	○インフルエンザや感染症等に関する情報を随時ホームページや広報誌へ掲載している。また、公共施設にポスターやチラシを設置し、市民周知に努めている。
	富士見市	○インフルエンザや感染症に関する情報を随時、ホームページや広報へ掲載している。随時、関係部署と情報交換を行っている。	発生状況に合わせた情報提供に努める。	○引き続き、インフルエンザや感染症に関する情報を随時、ホームページや広報へ掲載する。
	ふじみ野市	○インフルエンザや感染症などに関する情報をホームページや広報に掲載 ○熱中症について、市民への啓発活動を実施	○市民に向けてタイムリーな正しい情報を提供することが必要。	○インフルエンザや感染症などに関する情報をホームページや広報に掲載 ○熱中症について、市民への啓発活動を実施
その他	埼玉県南西部消防本部	○「救急車適正利用推進ポスター用図画募集」を実施。管内の中学生・高校生及び朝霞地区医師会に所属する学校から募集し、応募141枚の中から最優秀賞の作品をポスターにして1,200枚作成し、公共施設に掲出した。		○平成29年8月に「救急車適正利用推進ポスター用図画募集」を実施。管内の中学生・高校生及び朝霞地区医師会に所属する学校から募集し、応募255枚の中から最優秀賞の作品をポスターにして1,200枚作成し、公共施設に掲出した。
	人間東部地区消防組合消防本部	○健康危機発生予防のため、予防救急の講話を実施し、聴講者は629名であった。また、救急普及啓発活動や講習等でリーフレット・啓発品の配布や救急相談を実施した。		○予防救急の講話を昨年度から継続して実施。また、救急普及啓発活動や講習等で、リーフレットや啓発品配布・救急相談を実施している。
	和光市	○埼玉県新型コロナウイルス等対策訓練(市町村連絡訓練)の実施(H28.12.13)		○埼玉県新型コロナウイルス等対策訓練(市町村連絡訓練)の実施(H29.11.7)
	新座市			○災害時活動マニュアル(医療班編)を作成中
	富士見市	○埼玉県新型コロナウイルス等対策訓練に参加(H28.12.13) ○埼玉県新型コロナウイルス等対策行動計画に従い、業務継続計画の策定について関係部署と情報交換を実施した。 ○特定接種の登録、特定接種実施医療機関と覚書を交わした。	○業務継続計画の策定や、住民接種が円滑にできるよう、更に情報収集や関係機関と連携が必要である。	○埼玉県新型コロナウイルス等対策訓練に参加(H29.11.7) ○業務継続計画の策定、住民接種の接種体制構築に向け、継続して情報収集を行っている。